

(様式第 10)

金大病総第 55 号  
平成 30 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人金沢大学長  
山崎 光悦

国立大学法人金沢大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 29 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒920-1192 石川県金沢市角間町
氏 名	国立大学法人金沢大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立大学法人金沢大学附属病院
----------------

3 所在の場所

〒920-8641	電話 (076) 265-2000
石川県金沢市宝町13番1号	

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
② 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無		
内科と組み合わせた診療科名等			
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科	④腎臓内科
⑤神経内科	⑥血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	⑩リウマチ科	
診療実績			
内分泌・代謝内科			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
①呼吸器外科                      2消化器外科                      ③乳腺外科                      4心臓外科	
5血管外科                      ⑥心臓血管外科                      ⑦内分泌外科                      8小児外科	
診療実績	
胃腸外科、肝臓・胆のう・膵臓・移植外科	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科   ②小児科   ③整形外科   ④脳神経外科   ⑤皮膚科   ⑥泌尿器科   ⑦産婦人科 8産科      9婦人科   ⑩眼科      ⑪耳鼻咽喉科   12放射線科   ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科   ⑮麻酔科   ⑯救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科   2矯正歯科   ③口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1形成外科、2腫瘍内科、3腫瘍外科、4漢方内科、5病理診断科、6リハビリテーション科
--

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
46床	0床	0床	0床	792床	838床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	416人	132人	506.3人	看 護 補 助 者	43人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	11人	9人	16.1人	理 学 療 法 士	15人	臨床検査技師	59人
薬 剤 師	53人	3人	55人	作 業 療 法 士	7人	衛生検査技師	2人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	10人	そ の 他	0人
助 産 師	24人	0人	24人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	827人	7人	831.8人	臨 床 工 学 士	17人	医療社会事業従事者	10人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	18人
歯 科 衛 生 士	2人	0人	2人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	142人
管理栄養士	8人	1人	8.7人	診 療 放 射 線 技 師	38人	そ の 他 の 職 員	31人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	70人	眼 科 専 門 医	11人
外 科 専 門 医	35人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	13人
精 神 科 専 門 医	8人	放 射 線 科 専 門 医	21人
小 児 科 専 門 医	18人	脳 神 経 外 科 専 門 医	9人
皮 膚 科 専 門 医	8人	整 形 外 科 専 門 医	18人
泌 尿 器 科 専 門 医	13人	麻 酔 科 専 門 医	14人
産 婦 人 科 専 門 医	20人	救 急 科 専 門 医	7人
		合 計	265人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 蒲田 敏文 ) 任命年月日 平成28年 4月 1日

平成28年度から医療安全管理委員会の委員長として出席している。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	672.3人	6.4人	678.7人
1日当たり平均外来患者数	1481.8人	65.2人	1547.0人
1日当たり平均調剤数	1353.0剤		
必要医師数	158.1人		
必要歯科医師数	5.0人		
必要薬剤師数	23人		
必要(准)看護師数	392人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要
集中治療室	462 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数 : 22床   心電計 : (有)・無
			人工呼吸装置 : (有)・無   心細動除去装置 : (有)・無
			その他の救急蘇生装置 : (有)・無   ペースメーカー : (有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 202m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 12台	病床数 16床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 73m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名		
化学検査室	523m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 免疫発光測定装置、全自動免疫測定装置、ディスクリット方式臨床化学自動分析装置、検体前処理装置、蛋白分画電気泳動分析装置、免疫比濁測定装置、全自動電気泳動分析装置、迅速糖尿病生理機能検査装置、迅速糖化診断生理機能検査装置、自動浸透圧分析装置、乾式臨床化学分析装置、自動化学分析装置、大腸生理機能予備検査装置、総合生理機能検査前輸血支援システム、赤血球沈降速度測定装置、汎用血液ガス分析装置、血液検査システム、呼気中13CO2分析装置、臨床検査支援システム、恒温器、血液検査装置、心疾患関連マーカー自動測定器システム、遠心機、蒸留水製造装置、尿化学分析装置、顕微鏡、精子特性分析機
細菌検査室	94m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液培養装置、同定・薬剤感受性パネル自動測定装置、全自動細菌検査システム、クリーンベンチ、サーマルサイクラー、結核菌迅速診断装置、マイクロチップ電気泳動システム、嫌気ワークステーション、全自動遺伝子解析システム、遺伝子解析装置、恒温器、炭酸ガス培養装置、遠心機、乾熱滅菌器、高圧滅菌器、純水製造装置、顕微鏡、質量分析装置
病理検査室	112m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)

			全自動免疫染色装置、自動固定包埋装置、自動染色装置	
病理解剖室	134m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 無影灯、解剖台、計量器	
研究室	752m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液ガス分析装置、マイクロプレートリーダー、手術支援ロボット、超低温フリーザー、バイオハザード対象用キャビネット、遠心分離機、インキュベーター、高速タンパクブロッティングシステム、オートクレーブ、クリーン・ベンチ、顕微鏡、蛍光実体顕微鏡、薬用冷凍冷蔵庫、低温冷凍庫、ドラフト	
講義室	267m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1室
			収容定員	300人
図書室	166m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2室
			蔵書数	3,000冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	85.1%	逆紹介率	77.6%
算出根拠	A: 紹介患者の数		11,233人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,626人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		422人
	D: 初診の患者の数		13,698人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
秋野 裕信	福井大学医学部附属病院医療環境制御センター・医療安全管理部	○	医療安全管理部長として医療安全に関する業務に従事しているため	有・ <del>無</del>	1
麻生 小夜	金沢あおば法律事務所		弁護士として法律に関する専門知識に基づき、業務を行っているため	有・ <del>無</del>	1
和田真由美	血液疾患の患者の会「萌の会」		「萌の会」の代表として活動しており、医療を受ける立場から意見を述べるができるため	有・ <del>無</del>	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法 本院 Web サイトに掲載	







(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 腹膜播種陽性または腹腔細胞診陽性の胃癌症例を対象として、S-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法の安全性と有効性を評価する。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	56	ベーチェット病	56
2	筋萎縮性側索硬化症	2	57	特発性拡張型心筋症	23
3	脊髄性筋萎縮症	0	58	肥大型心筋症	17
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	6	60	再生不良性貧血	98
6	パーキンソン病	56	61	自己免疫性溶血性貧血	0
7	大脳皮質基底核変性症	1	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	50
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	14
11	重症筋無力症	77	66	IgA 腎症	14
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	11
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	52	68	黄色靱帯骨化症	15
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	11	69	後縦靱帯骨化症	67
15	封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	63
17	多系統萎縮症	8	72	下垂体性ADH分泌異常症	7
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	19	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライゾゾーム病	6	74	下垂体性PRL分泌亢進症	6
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	3
21	ミトコンドリア病	6	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	30	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	18
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	58
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	7
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	14	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	96
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	21
31	ペスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	11
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	11
34	神経線維腫症	12	89	リンパ管筋腫症	1
35	天疱瘡	20	90	網膜色素変性症	9
36	表皮水疱症	4	91	バッド・キアリ症候群	2
37	膿疱性乾癬(汎発型)	3	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	69
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	3
40	高安動脈炎	21	95	自己免疫性肝炎	11
41	巨細胞性動脈炎	5	96	クローン病	119
42	結節性多発動脈炎	19	97	潰瘍性大腸炎	122
43	顕微鏡的多発血管炎	24	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	11	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	6	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	9	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	11	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	258	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	107	105	チャージ症候群	1
51	全身性強皮症	361	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	43	107	全身型若年性特発性関節炎	1
53	シェーグレン症候群	34	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人ステル病	10	109	非典型型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	3	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	5
113	筋ジストロフィー	0	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	1	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	1	208	修正大血管転位症	1
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイルミクロン血症	1
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1
222	一次性ネフローゼ症候群	12	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	14
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスporter-1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	1
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	3
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	2
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・後発医薬品使用体制加算3
・歯科外来診療環境体制加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・歯科診療特別対応連携加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・特定機能病院入院基本料(一般病棟)	・データ提出加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟)	・入退院支援加算1
・超急性期脳卒中加算	・精神疾患診療体制加算
・診療録管理体制加算2	・精神科急性期医師配置加算
・医師事務作業補助体制加算1(50対1)	・地域歯科診療支援病院入院加算
・急性期看護補助体制加算	・特定集中治療室管理料2
・看護職員夜間配置加算1(12対1)	・総合周産期特定集中治療室管理料
・看護補助加算2(50対1)	1. 母体・胎児集中治療室管理料
・療養環境加算	2. 新生児集中治療室管理料
・重症者等療養環境特別加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・無菌治療室管理加算1, 2	・小児入院医療管理料4
・緩和ケア診療加算	・
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1 感染防止対策地域連携加算あり 抗菌薬適正使用支援加算あり	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・遺伝学的検査
・高度難聴指導管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・糖尿病合併症管理料	・検体検査管理加算(IV)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・国際標準検査管理加算
・がん患者指導管理料イ	・遺伝カウンセリング加算
・がん患者指導管理料ロ	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん患者指導管理料ハ	・植込型心電図検査
・外来緩和ケア管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・移植後患者指導管理料	・胎児心エコー法
・糖尿病透析予防指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・高度腎機能障害患者指導加算	・人工臓器検査
・院内トリアージ実施料	・皮下連続式グルコース測定
・外来リハビリテーション診療料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・外来放射線照射診療料	・神経学的検査
・ニコチン依存症管理料	・ロービジョン検査判断料
・がん治療連携計画策定料	・小児食物アレルギー負荷検査
・がん治療連携管理料	・内服・点滴誘発試験
・肝炎インターフェロン治療計画料	・センチネルリンパ節生検(片側)
・薬剤管理指導料	・画像診断管理加算3
・医療機器安全管理料1	・遠隔画像診断
・医療機器安全管理料2	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料(歯科)	・冠動脈CT撮影加算
・歯科治療総合医療管理料	・大腸CT撮影加算
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・心臓MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算	・乳房MRI撮影加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・小児鎮静下MRI撮影加算

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・頭部MRI撮影加算	・羊膜移植術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・外来化学療法加算1	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・無菌製剤処理料	・網膜再建術
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・人工中耳植込術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・がん患者リハビリテーション料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・精神科作業療法	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・医療保護入院等診療料	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膈腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・人工腎臓	
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・経皮的冠動脈形成術
・一酸化窒素吸入療法	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・CAD/CAM冠	・経皮的冠動脈ステント留置術
・歯科技工加算	・経カテーテル大動脈弁置換術
・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・経皮的中心筋焼灼術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・植込型心電図記録計移植術及び植型心電図記録計摘出術
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術



## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・補助人工心臓	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・経皮的動脈遮断術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
・ダメージコントロール手術	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・輸血管理料Ⅱ
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・コーディネート体制充実加算
・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・体外衝撃波胆石破砕術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腹腔鏡下肝切除術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・生体部分肝移植術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・同種死体肝移植術	・放射線治療専任加算
・体外衝撃波膀胱石破砕術	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下膀胱体尾部腫瘍切除術	・高エネルギー放射線治療
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下小切開副腎摘出術	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	・定位放射線治療
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・画像誘導密封小線源治療加算
・同種死体腎移植術	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・生体腎移植術	・病理診断管理加算1
・膀胱水圧拡張術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・人工尿道括約筋植込・置換術	・



## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
GSK3β経路を標的とする大腸がんの病態解明と治療法開発の基盤形成	源 利成	がん進展制御研究所	¥3,600,000	補助委 日本学術振興会
肺がんの髄膜がん腫症における分子標的薬耐性を克服する研究	矢野 聖二	がん進展制御研究所	¥3,800,000	補助委 日本学術振興会
ALK肺癌のEMTに起因するALK-TKI耐性克服治療の開発	福田 康二	がん進展制御研究所	¥900,000	補助委 日本学術振興会
GSK3βが制御するがん特異的エネルギー獲得機構の解明とがん治療への応用	堂本 貴寛	がん進展制御研究所	¥1,700,000	補助委 日本学術振興会
Investigation of the therapeutic interaction of mesenchymal stem cells with glioblastoma stem-like cells and its biological mechanism	Pyko Ilya	がん進展制御研究所	¥1,200,000	補助委 日本学術振興会
骨盤前傾座位時の坐骨結節部皮膚からの感覚情報は体幹位置の位置情報になる	浅井 仁	保健学系	¥450,000	補助委 日本学術振興会
介助動作re-positioningを頸部・腰部の圧迫力から判定する基礎的研究	柴田 克之	保健学系	¥480,000	補助委 日本学術振興会
乳児の泣きに対する母親育児支援プログラムの構築	田淵 紀子	保健学系	¥1,200,000	補助委 日本学術振興会
周産期女性のウェルネスを目指した妊娠早期からのケアシステムの提言	関塚 真美	保健学系	¥1,000,000	補助委 日本学術振興会
新規2型糖尿病骨代謝モデルによる糖尿病骨代謝機構解析と運動による改善法の提案	北村 敬一郎	保健学系	¥1,000,000	補助委 日本学術振興会
ヘムオキシゲナーゼ-1が造血幹細胞移植後治療成績におよぼす効果と新規治療戦略	森下 英理子	保健学系	¥1,000,000	補助委 日本学術振興会
新しい概念を有するX線CT装置の線量・エネルギー評価法の確立	松原 孝祐	保健学系	¥800,000	補助委 日本学術振興会
「糖尿病腎症療養認識パターン分類尺度」を活用した腎症教育プログラムの検証	松井 希代子	保健学系	¥300,000	補助委 日本学術振興会
リハビリテーション技術確立のための運動学習における行動柔軟性に関する基礎研究	米田 貢	保健学系	¥700,000	補助委 日本学術振興会
関節不動に伴う筋線維芽細胞の発現と治療手技の効果判定	松崎 太郎	保健学系	¥1,300,000	補助委 日本学術振興会
長軸部位を考慮した廃用性筋萎縮予防介入の効果検証	山崎 俊明	保健学系	¥800,000	補助委 日本学術振興会
認知症の方の快適な身体活動と介護者の負担軽減につながる動作誘導・介助法を提案する	横川 正美	保健学系	¥1,000,000	補助委 日本学術振興会
グラビティMRIによる臨床用頭蓋内環境モニタリング法の確立	宮地 利明	保健学系	¥1,000,000	補助委 日本学術振興会
低線量X線動画イメージングによる肺機能診断法の開発	田中 利恵	保健学系	¥700,000	補助委 日本学術振興会
間歇性跛行を有する患者の血行再建後の振動ケアがもたらす重症虚血肢移行遷延の検討	大桑 麻由美	保健学系	¥440,000	補助委 日本学術振興会
膠原病患者の運動中の心機能応答についての縦断的研究	染矢 富士子	保健学系	¥500,000	補助委 日本学術振興会
ラット廃用性関節拘縮・筋萎縮モデルにおける疼痛関連物質発現に関する研究	中川 敬夫	保健学系	¥1,450,000	補助委 日本学術振興会
急性相反応物質としてのFactor XIII-Aの活性化と創傷治癒機構の作動	杉谷 加代	保健学系	¥900,000	補助委 日本学術振興会
iPS細胞由来ヒト造血幹細胞を用いた自己免疫性造血不全の発症機序の解明	片桐 孝和	保健学系	¥1,200,000	補助委 日本学術振興会
心電図同期心筋SPECT画像の精度管理を目的とした三次元心臓動態ファントムの開発	小野口 昌久	保健学系	¥2,200,000	補助委 日本学術振興会
肥大型心筋症および類縁疾患の発症・進展・予後に関する分子遺伝疫学的研究	藤野 陽	保健学系	¥1,640,000	補助委 日本学術振興会
デュアルエネルギーCTのエネルギー領域に対応した人体組織等価ファントム物質の開発	市川 勝弘	保健学系	¥1,100,000	補助委 日本学術振興会

(¥32,360,000)  
小計 27件

拡散・造影MRIとディープラーニングを併用したスーパーハイブリッド乳癌悪性度解析	川島 博子	保健学系	¥100,000	補委	日本学術振興会
超音波画像を利用した新規無侵襲性筋力推定法開発の試み	三秋 泰一	保健学系	¥630,000	補委	日本学術振興会
出血リスクを増大しない抗血栓療法に向けて:スタチンによる新たな血栓阻止機構の解明	關谷 暁子	保健学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
感情の種類と大脳神経線維の関連の解明	中嶋 理帆	保健学系	¥700,000	補委	日本学術振興会
揺動MRIによる脳腫瘍のバイオメカニクス評価法の確立	大野 直樹	保健学系	¥500,000	補委	日本学術振興会
肝疾患におけるIFNλ4の機能的役割の解明	白崎 尚芳	保健学系	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
近接ジオメトリ型超高解像度CTの開発	川嶋 広貴	保健学系	¥2,000,000	補委	日本学術振興会
2型糖尿病患者が家族サポート感取・対応力を発揮するための患者教育プログラムの開発	堀口 智美	保健学系	¥700,000	補委	日本学術振興会
産後の授乳姿勢が母体の筋力と姿勢アライメントに与える影響と改善プログラムの開発	小西 佳世乃	保健学系	¥500,000	補委	日本学術振興会
X線動画イメージングによる胸郭・横隔膜運動ならびに肺機能評価の試み	田中 利恵	保健学系	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
肝炎ウイルス治療後の肝発癌機序とバイオマーカーの同定に関する研究	本多 政夫	保健学系	¥3,650,000	補委	日本学術振興会
高齢者の水のホメオスターシス(恒常性維持)と高齢者骨格筋のニュー・コンセプト	杉本 直俊	医学系	¥550,000	補委	日本学術振興会
心臓における交感神経刺激受容体に対するカテーテル焼灼の影響	村井 久純	医学系	¥600,000	補委	日本学術振興会
全身型若年性特発性関節炎の発症に関する分子免疫学的解析とその臨床応用	清水 正樹	医学系	¥600,000	補委	日本学術振興会
院外心停止に対する蘇生中止基準に関する研究	後藤 由和	医学系	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
次世代シーケンサーと蛋白質アレイを用いた骨髄腫病態解析と新規治療法の開発	高松 博幸	医学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
疾患特異的iPS細胞を用いた遺伝性肝疾患の病態解析と治療への応用に関する研究	小林 武嗣	医学系	¥600,000	補委	日本学術振興会
エクソームシーケンスを用いた新規高比重リボ蛋白代謝制御因子の発見とその機能解析	川尻 剛照	医学系	¥900,000	補委	日本学術振興会
ホスホラザーゼ異常リン酸化による心不全発症機序の解明	今野 哲雄	医学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
全身性強皮症におけるFcγRの役割についての検討	濱口 儒人	医学系	¥700,000	補委	日本学術振興会
人工知能と心疾患リスクモデルとを統合した次世代型画像診断システムの開発	中嶋 憲一	医学系	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
微弱磁場環境下・不凍物質添加低温保存肺の移植に関する研究	松本 勲	医学系	¥700,000	補委	日本学術振興会
RAGEにより誘導される骨肉腫幹細胞モデルの確立とその分子機構の解明	武内 章彦	医学系	¥760,000	補委	日本学術振興会
社会的相互作用によるオキシトシンの分泌が、児童の認知機能に与える影響	齋藤 大輔	子どものこころの発達研究センター	¥900,000	補委	日本学術振興会
遠隔シミュレーション教育の効果検証～チームダイナミクスと指導者育成の観点から～	太田 邦雄	医学系	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
糖尿病関連ヘパトカインを制御する新規鍵転写因子の同定	御簾 博文	医学系	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
IVR技術による標的組織の微小循環系の制御を利用した抗腫瘍療法の開発	香田 渉	医学系	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
胃癌腹膜播種における組織内IL-17産生細胞の機能解析と造腫瘍性についての検討	伏田 幸夫	医学系	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
GSK3βを分子標的とする神経膠芽腫治療の基礎基盤の確立	宮下 勝吉	医学系	¥1,000,000	補委	日本学術振興会

(¥29,490,000)  
小計 29件

Wnt/ $\beta$ -catenin経路を介した分子標的治療の開発と抗腫瘍メカニズムの解明	山本 憲男	医薬保健学総合研究科	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
糖化ストレスによる骨治癒遅延メカニズムの解明と新規治療薬の開発	松原 秀憲	医学系	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
去勢抵抗性前立腺癌のドセタキセルとカバジタキセル耐性化の機序とその克服	角野 佳史	医学系	¥100,000	補委	日本学術振興会
新しい角膜内皮移植(DMEK/DMAEK/PDEK)の確立とドナー接着機構の解明	小林 顕	医学系	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞の細胞シートによる末梢神経の再生に関する研究	多田 薫	医学系	¥2,100,000	補委	日本学術振興会
大腸癌における腫瘍関連マクロファージの発現解析と治療への応用	稲垣 聡子	医薬保健学総合研究科	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
慢性肝疾患の生体から獲得される脂肪組織由来間葉系幹細胞の肝修復再生能解析	酒井 佳夫	医学系	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
肺癌におけるMet遺伝子を標的とした個別化療法の確立	笠原 寿郎	医学系	¥900,000	補委	日本学術振興会
地域高齢者におけるプレリニカルCAAに関する前向き縦断研究	篠原 もえ子	医学系	¥900,000	補委	日本学術振興会
セレンプロテインPを標的とした新規糖尿病治療薬の結晶構造解析に基づく開発	菊地 晶裕	医学系	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
IgG4関連疾患における自然免疫の役割と新規治療ターゲットの探索	山田 和徳	医薬保健学総合研究科	¥1,350,000	補委	日本学術振興会
全身性強皮症におけるEffector B細胞の役割についての検討	竹原 和彦	医学系	¥1,650,000	補委	日本学術振興会
肝腫瘍に対する局所ならびに肝動脈内免疫賦活因子注入による抗腫瘍効果についての研究	蒲田 敏文	医学系	¥1,180,000	補委	日本学術振興会
膵癌組織内で構築される免疫寛容・転移促進の分子基盤の解明と新規治療法の開発	太田 哲生	医学系	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
次世代覚醒下脳手術を応用した共感性ネットワークの解明と温存	木下 雅史	医学系	¥2,200,000	補委	日本学術振興会
放射線照射が脊髄転移の局所進展様式に与える影響 -特に硬膜バリア機構に着目して-	村上 英樹	医学系	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
新規末梢血癌細胞検出法を応用した泌尿器癌転移に関するバイオマーカーの開発	北川 育秀	医学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
免疫チェックポイントを標的とした去勢抵抗性前立腺癌に対する複合がん免疫療法の構築	小中 弘之	医学系	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
眼圧日内変動リズムにおける発振メカニズムの解明	杉山 和久	医学系	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
口腔癌浸潤先端部微小環境での腫瘍免疫抑制機構の解明	中村 博幸	医学系	¥1,360,000	補委	日本学術振興会
炎症性腸疾患の病態を修飾する腸内ウイルス叢を解明するメタゲノム解析	飯田 宗徳	医学系	¥550,000	補委	日本学術振興会
孤発性脳アミロイドアンギオパチーの伝播に関する研究	山田 正仁	医学系	¥400,000	補委	日本学術振興会
スポーツ活動中の消化管水チャネル分子の動態と水吸収効率を主眼とした熱中症予防戦略	杉本 直俊	医学系	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病の先制医療にむけたキララミノ酸の病態解析とバイオマーカー開発	和田 隆志	医学系	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
Immunomeのシングルセル解析に基づいた肝癌新規分類法の確立	水腰 英四郎	医学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
注意欠陥・多動性障害における、幼児期の聴覚入力特性と「注意力」形成不全の関係	菊知 充	子どものこころの発達研究センター	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
次世代プロテオミクスによる悪性グリオーマのバイオマーカー探索	中田 光俊	医学系	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
癌骨転移の機序解明と新規治療法の開発	土屋 弘行	医学系	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌末梢循環腫瘍細胞の量的解析を目的とした捕捉チップ開発に関する研究	吉崎 智一	医学系	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
初期ヒト絨毛間質由来の胎児体内循環幹細胞の同定と機能解析	藤原 浩	医学系	¥500,000	補委	日本学術振興会

(¥36,990,000)  
小計 30件

自閉スペクトラム症児への複数ロボットを用いた集団療法の開発	熊崎 博一	子どものこころの発達研究センター	¥3,400,000	委	日本学術振興会
ヒトPS細胞由来肝細胞を用いた家族性高コレステロール血症に対する移植治療の検討	岡田 寛史	医学系	¥700,000	委	日本学術振興会
HPV陽性中咽頭癌におけるウイルス発癌機構へのAIDの関与	中西 庸介	医学系	¥1,200,000	委	日本学術振興会
M蛋白血症に起因する軽鎖結晶蓄積性組織球症による腎障害の病態解析と治療開発	原 怜史	医学系	¥1,000,000	委	日本学術振興会
脳脊髄液中のアミロイドβオリゴマー化抑制物質解明と早期診断・治療法開発の展開	池田 篤平	医学系	¥1,200,000	委	日本学術振興会
女性タンパク質PS細胞由来心筋を用いたXISTの役割と遺伝子治療の可能性について	吉田 昌平	医学系	¥1,200,000	委	日本学術振興会
腫瘍血管の成熟性を評価可能な超音響イメージングの腫瘍放射線医学への応用	吉田 耕太郎	医学系	¥800,000	委	日本学術振興会
超音響イメージングによる腎組織酸素飽和度測定の腎障害予後のバイオマーカーへの応用	奥村 健一朗	医学系	¥600,000	委	日本学術振興会
くも膜下出血後 EBI と転写因子 Nr2 の関連についての検討	会田 泰裕	医学系	¥1,800,000	委	日本学術振興会
小胞体ストレス応答制御による神経細胞死の阻止	吉川 陽文	医学系	¥700,000	委	日本学術振興会
子宮内膜症由来不死化細胞への性ホルモン受容体の遺伝子導入による病態解析	保野 由紀子	医学系	¥1,500,000	委	日本学術振興会
アカントアメーバ角膜炎の超早期診断法の開発と発症機序の解明	森 奈津子	医学系	¥1,100,000	委	日本学術振興会
肝細胞癌に対する腫瘍局所の抗腫瘍免疫反応の意義の解明	寺島 健志	医学系	¥900,000	委	日本学術振興会
膠原病で検出された160kDaタンパクに対する自己抗体の抗原解析	藤木 明子	医学系	¥600,000	委	日本学術振興会
精神疾患死後脳における分子発現変化の脳内分布解明のための内部標準遺伝子同定	川端 梨加	医学系	¥1,500,000	委	日本学術振興会
膠芽腫細胞株におけるEphB4受容体のシグナル解析及び前臨床試験	河原 庸介	医学系	¥1,200,000	委	日本学術振興会
肝硬変における炎症細胞社会の解明	金子 周一	医学系	¥16,600,000	委	日本学術振興会
進行性腎障害における慢性炎症の意義とそれに立脚した分子予防学の構築	和田 隆志	医学系	¥13,400,000	委	日本学術振興会
社交不安障害患者へのヒトの外観に酷似したロボットを用いた暴露療法の開発	熊崎 博一	子どものこころの発達研究センター	¥4,300,000	委	日本学術振興会
内分泌器官としての肝臓病学の確立	金子 周一	医学系	¥2,960,000	委	日本学術振興会
進行性消化器癌に対するα線核種内照射療法による治療戦略の確立	絹谷 清剛	医学系	¥5,300,000	委	日本学術振興会
上咽頭癌発癌ならびに多様性獲得分子機構の解析と新規治療法の開発	吉崎 智一	医学系	¥9,750,000	委	日本学術振興会
オミクス情報を駆使した全身型特発性関節炎分子病態の解明と先制医療開発	谷内江 昭宏	医学系	¥2,300,000	委	日本学術振興会
口腔扁平上皮細胞癌の浸潤・転移機序の解明ならびに浸潤・転移阻止実験	川尻 秀一	医学系	¥1,600,000	委	日本学術振興会
肝細胞がんの多様性・変幻性におけるMT1-MMP依存性分子経路の解析	清木 元治	医学系	¥300,000	委	日本学術振興会
再生不良性貧血におけるクローン性造血機序の解明	中尾 眞二	医学系	¥3,800,000	委	日本学術振興会
統合失調症の認知機能障害とバルブアルブミン陽性細胞のオキシトシンシグナル	橋本 隆紀	医学系	¥3,700,000	委	日本学術振興会
嗜好食品による抗老化作用と認知機能促進の分子基盤及び機能的形態学的機序の解明	杉本 直俊	医学系	¥700,000	委	日本学術振興会
Aβ凝集体の個体間伝播とその防御に関する研究	山田 正仁	医学系	¥2,400,000	委	日本学術振興会
酸化・還元バランスの破綻による糖尿病病態形成機構の解明	篁 俊成	医学系	¥3,000,000	委	日本学術振興会

(¥89,510,000)  
小計 30件

統合失調症における免疫炎症過程亢進と大脳皮質ニューロンの変化	三辺 義雄	医学系	¥4,500,000	委	日本学術振興会
自閉スペクトラム症幼児の症状多様性に対応する生物学的指標の検討	菊知 充	子どものこころの発達研究センター	¥3,600,000	委	日本学術振興会
前立腺癌微小環境内での細胞間クロストークをターゲットとした革新的治療薬の開発	溝上 敦	医学系	¥5,200,000	委	日本学術振興会
免疫系を介した胚着床誘導機構の解明-胚シグナルの同定と機能解析-	藤原 浩	医学系	¥2,500,000	委	日本学術振興会
Epstein-Barrウイルスによる細胞老化関連分泌形質誘導機構の解明	脇坂 尚宏	医学系	¥4,000,000	委	日本学術振興会
アジア、オセアニアの高齢糖尿病性腎症、腎硬化症のバイオマーカー、予後の国際比較	和田 隆志	医学系	¥1,000,000	委	日本学術振興会
肥満時の薬物動態変動による医薬品副作用の回避戦略	崔 吉道	附属病院	¥650,000	委	日本学術振興会
長鎖ノコギリRNAを基軸としたC型肝炎肝疾患の病態制御	島上 哲朗	附属病院	¥1,500,000	委	日本学術振興会
心不全状態での肝臓機能の破綻が心臓リモデリングへ与える影響	薄井 荘一郎	附属病院	¥1,100,000	委	日本学術振興会
進行性腎障害におけるTLR7を介した免疫担当細胞制御の意義	岩田 恭宜	附属病院	¥825,000	委	日本学術振興会
PIGA遺伝子変異造血幹細胞の選択的増殖におけるCD109分子とTGF-βの役割	山崎 宏人	附属病院	¥1,100,000	委	日本学術振興会
好中球二次顆粒欠損症の新規C/EBPε変異と好中球分化異常に関する研究	和田 泰三	附属病院	¥900,000	委	日本学術振興会
培養肥満細胞による胸腺機能回復:骨髄移植における致死的慢性GVHDの制御	西村 良成	附属病院	¥1,100,000	委	日本学術振興会
慢性炎症を背景とした食道発癌におけるアラキドン酸カスケードの制御と発癌抑制効果	尾山 勝信	附属病院	¥900,000	委	日本学術振興会
Zfp57遺伝子系をターゲットとした大腸癌に対する新規治療法の開発	高村 博之	附属病院	¥700,000	委	日本学術振興会
肝の難病"類洞閉塞症候群"の病態解明と新規予防法・治療法の開発	田島 秀浩	附属病院	¥1,400,000	委	日本学術振興会
多孔質足場を用いた動脈瘤開口部の新生血管壁構造の誘導実験	内山 尚之	附属病院	¥500,000	委	日本学術振興会
不安定性を有する骨粗鬆性脊椎の力学解析-最適な強度を有する固定材料の模索-	出村 諭	附属病院	¥550,000	委	日本学術振興会
変形性関節症の軟骨損傷に対する脂肪由来幹細胞を用いた予防と治療に関する基礎実験	加畑 多文	附属病院	¥225,000	委	日本学術振興会
末梢血中における子宮内膜癌幹細胞の検出とその臨床的意義の検討	中村 充宏	附属病院	¥700,000	委	日本学術振興会
顎変形症患者の周術期における気道通気状態と睡眠呼吸障害の解明	大井 一浩	附属病院	¥1,080,000	委	日本学術振興会
アカデミアにおける臨床研究データ管理のCDISC準拠体制モデルの構築	高原 志津子	附属病院	¥650,000	委	日本学術振興会
関節リウマチにおける糖鎖制御機構の解明	伊藤 清亮	附属病院	¥1,200,000	委	日本学術振興会
MLL遺伝子再構成を有する難治性乳児白血病の病態解析から新規治療法開発を試みる	伊川 泰広	附属病院	¥700,000	委	日本学術振興会
肝細胞癌における肝幹細胞形質と上皮間葉移行発現に対する画像バイオマーカーの検討	米田 憲秀	附属病院	¥500,000	委	日本学術振興会
肝移植後拒絶反応における類洞血管外血小板凝集関与の解明と新規治療の開発	中沼 伸一	附属病院	¥500,000	委	日本学術振興会
高濃度NaClによる抗癌剤内包ミセルの抗腫瘍効果増強とその動態	上野 貴雄	附属病院	¥800,000	委	日本学術振興会
放射線照射が脊椎の骨強度に与える影響-特に骨質に着目して-	加藤 仁志	附属病院	¥800,000	委	日本学術振興会
Dual-energy CTにおける非造影下物質弁別システムの確立	濱口 隆史	附属病院	¥1,000,000	委	日本学術振興会
内因性免疫による頭頸部ウイルス発癌における内分泌攪乱物質の関与と新規治療法の開発	近藤 悟	附属病院	¥2,800,000	委	日本学術振興会

(¥42,980,000)  
小計 30件

ヒト皮下脂肪由来エリート間葉系幹細胞の同定とその保有数に影響を与える因子の検証	井上 己音	附属病院	¥1,000,000	委	日本学術振興会
交流磁場併用による抗がん剤薬理作用増強効果を利用した新規化学療法の開発	小林 誠	附属病院	¥1,300,000	委	日本学術振興会
大腸癌歯状腫瘍を前癌病変とする新たな大腸癌発癌経路の同定と発癌メカニズムの解明	澤田 武	附属病院	¥2,100,000	委	日本学術振興会
脂肪組織を用いた心不全再生医療に重要なサイトカイン抑制型因子の同定	高村 雅之	附属病院	¥1,500,000	委	日本学術振興会
セレノプロテインPを介した脂肪酸によるインスリン抵抗性回復機序の解明	竹下 有美枝	附属病院	¥800,000	委	日本学術振興会
心筋炎治療へ向けたリノ酸ジエステル加水分解酵素阻害薬抗炎症効果の基礎研究	斉藤 剛克	附属病院	¥700,000	委	日本学術振興会
強皮症モデルマウスにおけるサイトカイン産生B細胞の役割	松下 貴史	附属病院	¥700,000	委	日本学術振興会
肝内胆管癌の遺伝子・分子生物学的機構に基づいたイメージバイオマーカーの研究	小坂 一斗	附属病院	¥1,000,000	委	日本学術振興会
陽子線治療後肝癌の画像変化と治療効果判定方法の研究	高松 繁行	附属病院	¥300,000	委	日本学術振興会
肝動脈化学塞栓療法における抗癌剤担体ナノ粒子の磁力による集積方法に関する研究	南 哲弥	附属病院	¥1,000,000	委	日本学術振興会
逆流性食道炎による食道発癌過程でのエピゲノム変化とがん微小環境の解明とその制御	宮下 知治	附属病院	¥1,300,000	委	日本学術振興会
大腸癌における Na <sup>+</sup> /H <sup>+</sup> 交換輸送体阻害による新規抗癌治療法の開発	二宮 致	附属病院	¥400,000	委	日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫に対する新規強磁性体温熱療法とmTOR阻害剤の併用療法の開発	田村 昌也	附属病院	¥400,000	委	日本学術振興会
数値流体解析の個別化による血管内治療後の脳動脈瘤再発の術前予測	見崎 孝一	附属病院	¥500,000	委	日本学術振興会
DIC病態における炎症と凝固のクロストークと血管作動性物質の役割	泉 浩二	附属病院	¥1,550,000	委	日本学術振興会
尿路HPV感染率と性器悪性腫瘍とHPVとの関連性についての検討	重原 一慶	附属病院	¥900,000	委	日本学術振興会
子宮筋腫に対する新規治療戦略の開発	小野 政徳	附属病院	¥1,200,000	委	日本学術振興会
卵管上皮に対する月経と排卵に伴う液性因子の発がん誘導作用の解析	水本 泰成	附属病院	¥850,000	委	日本学術振興会
ミセル化バクテリヤセルによる頭頸部癌次世代治療戦略と薬剤耐性克服への応用	遠藤 一平	附属病院	¥1,100,000	委	日本学術振興会
時計遺伝子の遺伝子多型による正常眼圧緑内障の眼圧日内変動の予測	東出 朋巳	附属病院	¥1,200,000	委	日本学術振興会
DIC病態における炎症と凝固のクロストークと血管作動性物質の役割	朝倉 英策	附属病院	¥1,100,000	委	日本学術振興会
新たに施行された臨床研究指針に対応するためのクラウド型モニタリングシステムの研究	栗林 義和	附属病院	¥790,000	委	日本学術振興会
シングルセル解析による次世代頭頸部癌個別化治療法の開発	近藤 悟	附属病院	¥1,100,000	委	日本学術振興会
幹細胞低酸素ニッチに着目した軟骨膜片からの長期形態維持性軟骨移植材料の開発	小室 明人	附属病院	¥800,000	委	日本学術振興会
逐次治療の評価における重み付き並び替え法を用いた新規推定法の開発	吉村 健一	附属病院	¥600,000	委	日本学術振興会
腫瘍免疫におけるRegulatory B細胞の役割についての解析	小林 忠弘	附属病院	¥1,900,000	委	日本学術振興会
高齢院外心肺停止傷病者における心肺蘇生および予後に関する研究	舟田 晃	附属病院	¥900,000	委	日本学術振興会
網羅的遺伝子解析による新規LDLコレステロール代謝関連分子Xの発見とその機能解析	多田 隼人	附属病院	¥600,000	委	日本学術振興会
M蛋白血症に起因する軽鎖結晶蓄積性組織球症による腎障害の病態解析と治療開発	原 怜史	附属病院	¥1,000,000	委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎病態に対するヘパトカインLECT2の関与	島 孝佑	附属病院	¥1,500,000	委	日本学術振興会

(¥30,090,000)  
小計 30件



モデルマウスを用いたIgG4関連疾患における線維化・硬化病態の解明と治療法の確立	水島 伊知郎	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
皮膚硬化慢性GVHDマウスにおける選択的S1P1阻害剤の有効性の検討	加納 美優	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
オキントシン長期投与による社会性の変化—脳磁図を用いた検討	廣澤 徹	附属病院	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
甲状腺分化癌における新規分子標的薬の超早期適応決定	萱野 大樹	附属病院	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
画像病理比較を基盤とした限局性自己免疫性膵炎と膵癌の高精度鑑別手法の確立	井上 大	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
流体構造連成解析を用いたくも膜下出血発症時の重症度予測	南部 育	附属病院	¥800,000	補委	日本学術振興会
軟部肉腫のGSK3βを標的とする新規治療法の開発と分子メカニズムの解明	阿部 健作	附属病院	¥800,000	補委	日本学術振興会
ラットHUSモデルにおける新たな治療法の検討	栗田 昭英	附属病院	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
電荷型白金抗癌剤による頭頸部癌新規治療戦略の基礎研究	笠原 善弥	附属病院	¥700,000	補委	日本学術振興会
AIDと上咽頭癌	加納 亮	附属病院	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
PETを用いた投球動作における全身骨格筋活動の検索:ノバフォーマンス向上と傷害予防	高田 泰史	附属病院	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
双極性障害におけるラモトリギンの有効血中濃度とその変動因子に関する研究	坪内 清貴	附属病院	¥310,000	補委	日本学術振興会
治験・臨床試験のモーター教育・評価ツール作成によるモニタリング体制の構築	川上 貴裕	附属病院	¥310,000	補委	日本学術振興会
大量マトリキサイト療法における血中濃度予測/モグラムの作成	三坂 恒	附属病院	¥310,000	補委	日本学術振興会
非剛体レジストレーションを利用した線量合算によるSEED併用IMRT線量の検討	小島 礼慎	附属病院	¥570,000	補委	日本学術振興会
タブレット端末を使用した書字能力の定量的評価の有用性	堀江 翔	附属病院	¥390,000	補委	日本学術振興会
Qprobe法を用いた薬剤耐性菌の迅速検出	坂井 優喜子	附属病院	¥570,000	補委	日本学術振興会
造血幹細胞移植後の赤血球系造血不全と赤血球前駆細胞のキメリズムとの関連性の検討	内海 真紀	附属病院	¥520,000	補委	日本学術振興会
MBP-QP法を用いたJAK2、MPLおよびCALR遺伝子変異の検出に関する研究	前河 晶子	附属病院	¥570,000	補委	日本学術振興会
検査技師教育での臨地実習後アンケートに対するテキストマイニングによる分析と評価	油野 岳夫	附属病院	¥400,000	補委	日本学術振興会
N400バイオフィードバックによる統合失調症の妄想知覚自己制御に関する基礎研究	山村 崇尚	附属病院	¥700,000	補委	日本学術振興会
原発性アルドステロン症の罹患率と遺伝子学的背景及びステロイドプロファイルの検討	唐島 成宙	附属病院	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
唾液ならびに口腔内細菌叢解析に基づく腎臓病の病態評価とバイオマーカー開発	中出 祐介	附属病院	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
環境及び併存疾患がIgG4関連疾患の発症進展に与える影響	藤井 博	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
B型肝炎ウイルスが引き起こす肝組織構成細胞の変化と癌化の解明	川口 和紀	附属病院	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
膵癌における早期エピゲノム診断を目指したマイクロRNA発現異常領域の同定	大坪 公士郎	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
呼吸器縮液を用いた慢性咳嗽の診断法の確立、病態評価、難治化因子の解明	原 丈介	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
アポトーシス抵抗性に起因する変異型選択的EGFR-TKI耐性克服治療の開発	竹内 伸司	附属病院	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
細胞骨格依存性シグナルの腎線維化にはたす意義	坂井 宣彦	附属病院	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
モデルマウスを用いた硬膜移植による脳βアミロイドーシスの個体間伝播についての研究	濱口 毅	附属病院	¥1,250,000	補委	日本学術振興会

(¥26,600,000)  
小計 30件

自己免疫性造血不全におけるdel(13q)クローン活性化機序の解明	石山 謙	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
CIK細胞と培養肥満細胞を併用し人為的抗腫瘍効果を増強させた造血幹細胞移植の開発	荒木 来太	附属病院	¥700,000	補委	日本学術振興会
新規PETトレーサF18-FDSを用いた腎PET画像診断法の確立	若林 大志	附属病院	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌の分子・遺伝子的亜分類に基づいたradiogenomics	北尾 梓	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
心筋梗塞後の病態変化と左室リモデリング予測に関する継時的生体分子イメージング研究	瀧 淳一	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
大腸癌における循環腫瘍DNAを用いたEGFR抗体薬耐性の検出と個別化治療への応用	中村 慶史	附属病院	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
Notchシグナルの核内転写因子RBP-1k抑制によるグリオーマ幹細胞の制御	田中 慎吾	附属病院	¥1,900,000	補委	日本学術振興会
骨軟部腫瘍切除後欠損に対する脂肪由来幹細胞再生医療の新たなアプローチ	林 克洋	附属病院	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
微弱磁場冷却装置を使用した新しい移植腎保存法の基礎的研究	木村 圭一	附属病院	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
乳癌患者におけるタモキシフェン投与の子宮内膜着床能に及ぼす影響と作用機序の解析	山崎 玲奈	附属病院	¥600,000	補委	日本学術振興会
リンパ管奇形に対する漢方薬による制御メカニズムの解明	小川 恵子	附属病院	¥800,000	補委	日本学術振興会
心停止後症候群モデルにおけるケミカルシャペロンの効果	岡島 正樹	附属病院	¥700,000	補委	日本学術振興会
口腔癌の高浸潤性獲得メカニズムと微小管の関連解析	北原 寛子	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
膝蓋大腿関節症モデルラットの確立と力学的負荷がもたらす病理組織学的変化	高橋 郁文	附属病院	¥600,000	補委	日本学術振興会
次世代シーケンサーを用いた家族性肥大型心筋症の新たな病態発症メカニズムの解明	野村 章洋	附属病院	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
新規ミトコンドリア関連分子USMG5が拡張型心筋症の発症進展に与える機序の解明	永田 庸二	附属病院	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
再生不良性貧血を発症させるT細胞シグナルパスウェイの同定	細川 晃平	附属病院	¥2,000,000	補委	日本学術振興会
Emery-Dreifuss型筋ジストロフィーの核膜構造と核内Ca動態の検討	下島 正也	附属病院	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
極低出生体重児における神経発達障害と脳内ネットワークの関連	三谷 裕介	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
皮膚筋炎におけるFcγRIIBの役割について検討	八木 夏希	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
強迫的行動促進の神経基盤	西川 宏美	附属病院	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
膝癌における血管外血小板凝集とMicroRNA21を介した進展の検討	山口 貴久	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
自己の腹膜を利用した腹膜メッシュによる消化管再建の基礎的研究	森山 秀樹	附属病院	¥500,000	補委	日本学術振興会
脳腫瘍を構成する細胞群におけるAquaporin-1発現意義の解明と新規治療戦略	大石 正博	附属病院	¥2,000,000	補委	日本学術振興会
神経膠腫におけるエクソソーム解析とNegr1による新規治療の開発	筒井 泰史	附属病院	¥2,100,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌の去勢抵抗性獲得機序としてのARIによるCCL2制御機構の解明	野原 隆弘	附属病院	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
クラインフェルター症候群により解き明かされるX染色体の精子形成遺伝子群	飯島 将司	附属病院	¥1,900,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌PDXモデルを用いた新規バイオマーカーの確立と治療効果予測への応用	上野 春菜	附属病院	¥2,300,000	補委	日本学術振興会
末梢血白血球遺伝子情報に基づく慢性腎臓病における睡眠覚醒障害の検討	北島 信治	附属病院	¥700,000	補委	日本学術振興会
統合失調症の急性期におけるオープンダイアログを用いた介入について	金田 礼三	附属病院	¥2,000,000	補委	日本学術振興会

(¥37,700,000)  
小計 30件

咽頭扁桃におけるM細胞の機能解析:反復性中耳炎発症の内的因子の解明	杉本 寿史	附属病院	¥700,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌の浸潤・転移におけるInvadopodiaのメカニズムの解明	加藤 広祿	附属病院	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
聴覚中枢発達期におけるプログラム細胞死	波多野 都	附属病院	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
血液凝固異常症等に関する研究	森下 英理子	保健学系	¥1,000,000	補委	厚生労働省
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	山田 正仁	医学系	¥35,500,000	補委	厚生労働省
指定難病制度の普及・啓発状況の把握および普及・啓発のための方法論の開発	和田 隆志	医学系	¥12,469,000	補委	厚生労働省
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制せいび、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	谷内江 昭宏	医学系	¥600,000	補委	厚生労働省
原発性免疫不全症候群の診断基準・重症度分類および診療ガイドラインの確立に関する研究	谷内江 昭宏	医学系	¥1,200,000	補委	厚生労働省
慢性活動性EBウイルス感染症と類縁疾患の疾患レジストリとバイオバンクの構築	谷内江 昭宏	医学系	¥750,000	補委	厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	清水 正樹	医学系	¥430,000	補委	厚生労働省
難治性血管炎に関する調査研究	和田 隆志	医学系	¥80,000	補委	厚生労働省
難治性腎障害に関する調査研究	和田 隆志	医学系	¥500,000	補委	厚生労働省
腎臓病データベースの拡充・連携強化と包括的データベースの構築	和田 隆志	医学系	¥700,000	補委	厚生労働省
強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究	竹原 和彦	医学系	¥300,000	補委	厚生労働省
特発性心筋症に関する調査研究	山岸 正和	医学系	¥350,000	補委	厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	村上 英樹	医学系	¥250,000	補委	厚生労働省
特発性造血障害に関する調査研究	中尾 眞二	医学系	¥500,000	補委	厚生労働省
アミロイドーシスに関する調査研究	山田 正仁	医学系	¥200,000	補委	厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	山田 正仁	医学系	¥700,000	補委	厚生労働省
肝炎ウイルス感染状況と感染後の長期経過に関する研究	島上 哲朗	附属病院	¥1,000,000	補委	厚生労働省
遺伝子診断に基づく不整脈疾患群の病態解明および診断基準・重症度分類・ガイドライン作成に関する研究	林 研至	附属病院	¥150,000	補委	厚生労働省
自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	朝倉 英策	附属病院	¥500,000	補委	厚生労働省
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	武田 仁勇	附属病院	¥400,000	補委	厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準向上及び患者のQOL向上に関する大規模他施設研究	加畑 多文	附属病院	¥100,000	補委	厚生労働省
肝炎の病態評価指標の開発と肝炎対策への応用に関する研究	島上 哲朗	附属病院	¥3,000,000	補委	厚生労働省
職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究	島上 哲朗	附属病院	¥250,000	補委	厚生労働省
IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	川野 充弘	附属病院	¥500,000	補委	厚生労働省

(¥64,429,000)  
小計 27件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(¥390,149,000)  
計 263件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Hayashi T, Yamashita T, Okada H 他	消化器内科	A Novel mTOR Inhibitor; Anthracimycin for the Treatment of Human Hepatocellular Carcinoma.	Anticancer Res. 2017 Jul;37(7):3397- 3403.	Original Article
2	Terashima T, Yamashita T, Arai K 他	消化器内科	Beneficial Effect of Maintaining Hepatic Reserve during Chemotherapy on the Outcomes of Patients with Hepatocellular Carcinoma.	Liver Cancer 2017 Jun;6(3):236- 249.	Original Article
3	Kawaguchi K, Honda M, Ohta H 他	消化器内科	Serum Wisteria floribunda agglutinin- positive Mac-2 binding protein predicts hepatocellular carcinoma incidence and recurrence in nucleos(t)ide analogue therapy for chronic hepatitis B.	J Gastroenterol. 2018 Jun;53(6):740- 751.	Original Article
4	Ota T	内分泌・代謝内科	Immune regulation of glucose and lipid metabolism	Diabetol Int 2018.3.29、8、 247-267、	Original Article
5	Ota T	内分泌・代謝内科	Diabetes and Liver Disorders. In Diabetes and Aging -related Complications, Springer Nature 2017	Diabetol Int 2018.1.31、 Chaoter7	Original Article

6	Ota T	内分泌・代謝内科	Molecular mechanisms of nonalcoholic fatty liver disease (NAFLD)/ nonalcoholic steatohepatitis (NASH). In Carotenoids: Biosynthetic and Biofunctional Approaches Springer Nature 2017	Diabetol Int 2017.11.21、Chapter7-1	Original Article
7	Kitade H, Chen G, Ni Y 他	内分泌・代謝内科	Nonalcoholic Fatty Liver Disease and Insulin Resistance: New Insights and Potential New Treatments	Nutrients 2017.6.20、9・(4)、387	Original Article
8	Shima K R, Ota T, Kato K 他	内分泌・代謝内科	Ursodeoxycholic acid potentiates dipeptidyl peptidase-4 inhibitor sitagliptin by enhancing glucagon-like peptide-1 secretion in patients with type 2 diabetes and chronic liver disease: a pilot randomized controlled and add-on study	EBioMedicine 2017.6.30 ;6(1):e000469	Original Article
9	Karashima S, Tsuda T, Wakabayashi Y 他	内分泌・代謝内科	Ventricular fibrillation associated with dynamic changes in J-point elevation in a patient with silent thyroiditis	J Endocr Soc. 2017 Dec , 2(2): 135-9,	Case report
10	Makita K, Nishimoto K, Kiriyama-Kitamoto K 他	内分泌・代謝内科	A novel method : Super-selective adrenal venous sampling	J Vis Exp. 2017 Sep,(127): e55716,	Original Article
11	Oka R, Shibata K, Sakurai M 他	内分泌・代謝内科	Trajectories of postload plasma glucose in the development of type 2 diabetes in Japanese adults	J Diabetes Res. 2017: 5307523	Original Article

12	Kometani M, Yoneda T, Demura M 他	内分泌・代謝内科	Cortisol overproduction results from DNA methylation of CYP11B1 in hypercortisolemia	Sci Rep. 2017 Sep, 7(1): 11205	Original Article
13	Oka R, Aizawa T, Yoneda T 他	内分泌・代謝内科	Reply to Kawada: One-hour plasma glucose as a predictor of type 2 diabetes mellitus	Diabet Med. 2017,34(5): 734	Letter
14	Aono D, Oka R, Kometani M 他	内分泌・代謝内科	Insulin Secretion and Risk for Future Diabetes in Subjects with a Nonpositive Insulinogenic Index.	J Diabetes Res 2018 Mar: 5107589. 2018	Original Article
15	Karashima S, Kometani M, Tsujiuchi H 他	内分泌・代謝内科	Prevalence of primary aldosteronism without hypertension in the general population: Results in Shika study.	Clin Exp Hypertens. 2018,40(2): 118-125,	Original Article
16	Umakoshi H, Tsuike M, Takeda Y 他	内分泌・代謝内科	Significance of Computed Tomography and Serum Potassium in Predicting Subtype Diagnosis of Primary Aldosteronism.	J Clin Endocrinol Metab. 2018 Mar,103(3): 900-908	Original Article
17	Ohno Y, Sone M, Inagaki N 他	内分泌・代謝内科	Prevalence of Cardiovascular Disease and Its Risk Factors in Primary Aldosteronism: A Multicenter Study in Japan.	Hypertension 2018 Mar , 71(3):530-537	Original Article

18	Shibayama Y, Wada N, Naruse M 他	内分泌・代謝内科	The Occurrence of Apparent Bilateral Aldosterone Suppression in Adrenal Vein Sampling for Primary Aldosteronism.	J Endocr Soc 2018 Mar,22;2(5):398-407	Original Article
19	Yamada K, Zoshima T, Ito K, Mizushima I 他	リウマチ・膠原病内科	A case developing minimal change disease during the course of IgG4-related disease.	Mod Rheumatol. 2017 Jul, 27(4):712-715	Case report
20	Yamada K, Yamamoto M, Saeki T 他	リウマチ・膠原病内科	New clues to the nature of immunoglobulin G4-related disease: a retrospective Japanese multicenter study of baseline clinical features of 334 cases.	Arthritis Res Ther. 2017 Dec ,19(1):262	Original Article
21	Mizushima I, Yamada K, Harada K, 他	リウマチ・膠原病内科	Diagnostic sensitivity of cutoff values of IgG4-positive plasma cell number and IgG4-positive/CD138-positive cell ratio in typical multiple lesions of patients with IgG4-related disease.	Mod Rheumatol. 2018 Mar,28(2):293-299	Original Article
22	Hara S, Hirata M, Ito K 他	リウマチ・膠原病内科	Post-infectious acute glomerulonephritis with podocytopathy induced by parvovirus B19 infection.	Pathol Int. 2018 Mar,68(3):190-195	Case report
23	Saeki K, Watanabe S, Waseda Y 他	呼吸器内科	Endobronchial Lesions of Mycobacterium abscessus Infection in an Immunocompromised Patient.	Am J Respir Crit Care Med. 2017.05 195(9):e37-e38	Case report

24	Hara J, Fujimura M, Ohkura N 他	呼吸器内科	The measurement of cough response to bronchoconstriction induced by methacholine inhalation in healthy subjects: An examination using the Astograph method.	Exp Lung Res. 2017.08 43(6-7):240-248	Original Article
25	Tambo Y, Sone T, Kasahara K.	呼吸器内科	Combination Treatment Using an EGFR Tyrosine Kinase Inhibitor plus Platinum-Based Chemotherapy for a Patient with Transformed Small Cell Carcinoma and EGFR-Mutated Lung Adenocarcinoma.	J Thorac Oncol. 2017 Dec (12):e199-e200.	Letter
26	Watanabe S, Saeki K, Waseda Y 他	呼吸器内科	Lung Cancer in connective tissue disease-associated interstitial lung disease: clinical features and impact on outcomes.	J Thorac Dis 2018.02 10(2):799-807	Original Article
27	Okazaki A, Hara J, Ohkura N 他	呼吸器内科	Role of prostaglandin E2 in bronchoconstriction-triggered cough response in guinea pigs.	Pulm Pharmacol Ther 2018 Feb 48:62-70	Original Article
28	Yamamoto K, Yamamoto T, Takamura M 他	循環器内科	Effects of mineralocorticoid receptor antagonists on responses to hemorrhagic shock in rats.	World J Crit Care Med 2018 Feb 4;7(1):1-8	Original Article
29	Takamura M, Murai H, Okabe Y 他	循環器内科	Significant correlation between renal 123I-metaiodobenzylguanidine scintigraphy and muscle sympathetic nerve activity in patients with primary hypertension.	J Nucl Cardiol 2017 24 (2) 363-371	Original Article



30	Kato T, Sekiguchi A, Sagara K, 他	循環器内科	Endothelial- mesenchymal transition in human atrial fibrillation.	J Cardiol 2017 69 (5) 706-711	Original Article
31	Nohara A	循環器内科	sLR11 as a novel predictor of vascular calcification.	Atherosclerosis 2017 Oct,265: 242-243,	Original Article
32	Kawashiri M, Sakata K,Hayashi K 他	循環器内科	Impact of combined lipid lowering and blood pressure control on coronary plaque : myocardial ischemia treated by percutaneous coronary intervention and plaque regression by lipid lowering and blood pressure controlling assessed by intravascular ultrasonography (MILLION) study	Heart Vessels. 2017 May,32 (5) : 539-548	Original Article
33	Kawashiri M, Nohara A,Higashikat a T 他	循環器内科	Impact of evolocumab treatment on low- density lipoprotein cholesterol levels in heterozygous familial hypercholesterolemic patients withdrawing from regular apheresis.	Atherosclerosis 2017 Oct, 265: 225-230	Original Article
34	Sakata K, Nakahashi T,Kawashiri M.	循環器内科	Prognostic superiority of coronary artery bypass grafting to percutaneous coronary intervention in non- diabetic patients with anatomically complex multivessel coronary artery disease.	Cardiovasc Diagn Ther. 2017 Jun 7(Suppl 2):S77- S81	Original Article
35	Tsuda T, Hayashi K,Konno T 他	循環器内科	J Waves for Predicting Cardiac Events in Hypertrophic Cardiomyopathy.	JACC Clin Electrophysiol. 2017 Oct 3(10):1136- 1142	Original Article

36	Gamou T, Sakata K, Tada H 他	循環器内科	Effect of Reverse Vessel Remodeling on Regression of Coronary Atherosclerosis in Patients Treated With Aggressive Lipid- and Blood Pressure- Lowering Therapy - Insight From MILLION Study.	Circ J. 2017 Sep 81(10):1490-1495	Original Article
37	Nagata Y, Yamagishi M, Konno T 他	循環器内科	Heart Failure Phenotypes Induced by Knockdown of DAPIT in Zebrafish: A New Insight into Mechanism of Dilated Cardiomyopathy.	Sci Rep. 2017 Dec 7(1):17417	Original Article
38	Tanaka Y, Konno T, Tamura Y 他	循環器内科	Impact of T wave amplitude in lead aVR on predicting cardiac events in ischemic and nonischemic cardiomyopathy patients with an implantable cardioverter defibrillator.	Ann Noninvasive Electrocardiol. 2017 Nov 22(6). doi: 10.1111/anec.12452	Original Article
39	Mori M, Sakata K, Nakanishi C 他	循環器内科	Early endothelialization associated with a biolimus A9 bioresorbable polymer stent in a porcine coronary model.	Heart Vessels. 2017 Oct 32(10):1244-1252	Original Article
40	Mori M, Sakata K, Yokawa J 他	循環器内科	Application of an enhanced device to transluminal retrieval of malappositioned coronary stents: An experimental study.	J Interv Cardiol. 2017 Dec 30(6):537-543	Original Article
41	Tanaka Y, Mori M, Tamura Y 他	循環器内科	Postoperative Dissecting Interventricular Hematoma Evaluated by Multiple Modalities.	Intern Med. 2017, 56(7):873-874	Original Article

42	Kawashiri M, Tada H, Yamagishi M	循環器内科	Unsolved Antiatherogenic Mechanism of n-3 Polyunsaturated Fatty Acids.	Circ J. 2018 Jan ,82(2):332- 333	Others
43	Yoshida S, Nakanishi C, Okada H 他	循環器内科	Characteristics of induced pluripotent stem cells from clinically divergent female monozygotic twins with Danon disease.	J Mol Cell Cardiol. 2018 Jan 114:234- 242	Original Article
44	Furuichi K, Shimizu M, Yuzawa Y 他	腎臓内科	Clinicopathological analysis of biopsy- proven diabetic nephropathy based on the Japanese classification of diabetic nephropathy.	Clin Exp Nephrol 2018 Jun 22(3):570- 582	Original Article
45	Furuichi K, Shimizu M, Yuzawa Y 他	腎臓内科	Nationwide multicenter kidney biopsy study of Japanese patients with hypertensive nephrosclerosis.	Clin Exp Nephrol 2018 Jun 22(3):629- 637	Original Article
46	Furuichi K, Yuzawa Y, Shimizu M 他	腎臓内科	Nationwide multicentre kidney biopsy study of Japanese patients with type 2 diabetes.	Nephrol Dial Transplant, 2018 Jan 33: 138-148	Original Article
47	Hara A, Furuichi K, Koshino A 他	腎臓内科	Clinical and Pathological Significance of Autoantibodies to Erythropoietin Receptor in Type 2 Diabetic Patients With CKD.	Kidney Int Rep 2017 Sep 3(1):133-141	Original Article

48	Iwata Y, Satou K, Tsuzuku H 他	腎臓内科	Down-regulation of the two-component system and cell-wall biosynthesis-related genes was associated with the reversion to daptomycin susceptibility in daptomycin non-susceptible methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> .	Eur J Clin Microbiol Infect Dis 2017 Oct 36(10):1839-1845	Original Article
49	Sakai N, Nakamura M, Lipson KE 他	腎臓内科	Inhibition of CTGF ameliorates peritoneal fibrosis through suppression of fibroblast and myofibroblast accumulation and angiogenesis.	Sci Rep 2017 Jul 7(1):5392	Original Article
50	Shimizu M, Furuichi K, Toyama T 他	腎臓内科	Decline in estimated glomerular filtration rate is associated with risk of end-stage renal disease in type 2 diabetes with macroalbuminuria: an observational study from JDNCS.	Clin Exp Nephrol 2017 Sep 22(2):377-387	Original Article
51	Wada T, Musso E, Maruyama S 他	腎臓内科	Rationale and study design of a clinical trial to assess the effects of LDL apheresis on proteinuria in diabetic patients with severe proteinuria and dyslipidemia.	Clin Exp Nephrol 2018 Jun 22(3):591-596	Original Article
52	Zaimoku Y, Takamatsu H, Hosomichi K 他	血液内科	Identification of an HLA class I allele closely involved in the auto-antigen presentation in acquired aplastic anemia.	Blood 2017.05 129(21):2908-2916	Original Article
53	Nakao S, Ishiyama K	血液内科	Hypomegakaryocytic thrombocytopenia and increased number of PNH-phenotype cells - an emerging subgroup of myelodysplastic syndrome showing frequent response to immunosuppression - RESPONSE to Rafferty & Leach.	Br J Haematol 2017.06 182(1):154-155	Letter

54	Kadohira Y, Yamada S, Matsuura E 他	血液内科	Aortic Aneurysm- associated Disseminated Intravascular Coagulation that Responded Well to a Switch from Warfarin to Rivaroxaban.	Intern Med 2017 Nov 56: 2913-2917	Case report
55	Takamatsu H, Takezako N, Zheng J 他	血液内科	Prognostic value of sequencing-based minimal residual disease detection in patients with multiple myeloma who underwent autologous stem-cell transplantation.	Ann Oncol. 2017.10 28(10):2503- 2510	Original Article
56	Takamatsu H, Wee RK, Zaimoku Y 他	血液内科	A comparison of minimal residual disease detection in autografts among ASO-qPCR, droplet digital PCR, and next-generation sequencing in patients with multiple myeloma who underwent autologous stem cell transplantation.	Br J Haematol. 2017.12	Letter
57	Maruyama K, Aotsuka N, Kumano Y 他	血液内科	Immune-Mediated Hematopoietic Failure after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation: A Common Cause of Late Graft Failure in Patients with Complete Donor Chimerism.	Biol Blood Marrow Transplant. 2018.01;24(1):4 3-49	Original Article
58	Akagi A, Iwasaki Y, Mimuro M 他	神経内科	Pathological progression of genetic Creutzfeldt- Jakob disease with a PrP V180I mutation	Prion 2018 Jan 12(1):54-62	Original Article
59	Iwasa K, Yoshikawa H, Hamaguchi K 他	神経内科	Time-series analysis: variation of anti- acetylcholine receptor antibody titer in myasthenia gravis is related to incidence of Mycoplasma pneumoniae and influenza virus infections	Neurol Res 2018 Feb; 40(2):102-109	Original Article

60	Komatsu J, Sakai K, Nakada M 他	神経内科	Long spinal cord lesions in a patient with pathologically proven multiple sclerosis	J Clin Neurosci 2017 Aug ,42:106-108	Case report
61	Komatsu J, Matsunari I, Samuraki M 他	神経内科	Optimization of DARTEL Settings for the Detection of Alzheimer Disease	AJNR Am J Neuroradiol 2018 Feb 1	Original Article
62	Muroishi T, Sakai K, Yanase D 他	神経内科	Serum anti-aquaporin-4 antibody-positive neuromyelitis optica spectrum disorder presenting as acute eosinophilic encephalomyelitis	J Clin Neurosci 2018 Feb 48:93-94	Case report
63	Nakamura K, Hamaguchi T, Yamada M	神経内科	Demyelinating polyneuropathy after long-term treatment with infliximab	Int J Rheum Dis 2017 Nov 20(11):1781-1782	Case report
64	Nakano H, Sakai K, Iwasa K 他	神経内科	Cervical Flexion Myelopathy Eleven Years after a Cervical Spinal Cord Injury	Intern Med 2017 Nov 56(16):2213-2215	Case report
65	Noguchi-Shinohara M, Komatsu J, Samuraki M 他	神経内科	Cerebral Amyloid Angiopathy-Related Microbleeds and Cerebrospinal Fluid Biomarkers in Alzheimer's Disease	J Alzheimers Dis 2017 55(3):905-913	Original Article

66	Sakai K, Asakawa M, Takahashi R 他	神経内科	Coexistence of transthyretin- and A $\beta$ -type cerebral amyloid angiopathy in a patient with hereditary transthyretin V30M amyloidosis	J Neurol Sci 2017 381:144-146	Case report
67	Sakai K, Asakawa M, Takahashi R 他	神経内科	Somatic sprouts of the Purkinje cells in a patient with multiple system atrophy	Neuropathology 2018 Mar 25	Case report
68	Sakashita Y, Hamada T, Machiya T 他	神経内科	Acute intermittent porphyria presenting as posterior reversible encephalopathy syndrome with hyperperfusion in bilateral occipital lobes: A case report	J Neurol Sci 2017 Jun 377:47-49	Case report
69	Samuraki M, Sakai K, Odake Y 他	神経内科	Multiple sclerosis showing elevation of adenosine deaminase levels in the cerebrospinal fluid	Mult Scler Relat Disord 2017 Apr ,13:44-46	Case report
70	Yuki- Nozaki S, Noguchi- Shinohara M, Domoto C 他	神経内科	Differences in Dementia Beliefs between Non-Demented Public Screeners and In-Home Screeners and Their Potential Impact on Future Dementia Screening Intention: The Nakajima Study	J Alzheimers Dis 2018,62(4):1651-1661	Original Article
71	Masaki Shimizu, Yasuhiro Ikawa, Mao Mizuta 他	小児科	FDG-PET in macrophage activation syndrome associated with systemic juvenile idiopathic arthritis.	Pediatr Int. 2017 Apr;59(4):509-511.	Case report

72	Natsumi Inoue, Masaki Shimizu, Mao Mizuta 他	小児科	Refractory cutaneous polyarteritis nodosa: Successful treatment with etanercept.	Pediatr Int. 2017 Jun;59(6):751-752.	Letter
73	Masaki Shimizu, Maiko Takakura, Natsumi Inoue 他	小児科	Thrombocytosis-related glomerulopathy in a patient with hyposplenism.	Pediatr Int. 2017 Jul;59(7):842-843.	Others
74	Taizo Wada, Satoshi Miyamoto, Hiroyuki Okamoto 他	小児科	Prolonged neutropenia due to antihuman neutrophil antigen 2 (CD177) antibody after bone marrow transplantation.	Pediatr Blood Cancer. 2017 Jul;64(7).	Case report
75	Sayaka Ishikawa, Masaki Shimizu, Natsumi Inoue 他	小児科	Interleukin-33 as a marker of disease activity in rheumatoid factor positive polyarticular juvenile idiopathic arthritis.	Mod Rheumatol. 2017 Jul;27(4):609-613.	Original Article
76	Taizo Wada, Yasunori Iwata, Yasutaka Kamikawa 他	小児科	Peripheral Blood Plasmacytosis in Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome.	Jpn J Infect Dis. 2017 Jul 24;70(4):470-471.	Others
77	Kunio Ohta, Hiroshi Kurosawa, Yuko Shiima 他	小児科	The Effectiveness of Remote Facilitation in Simulation-Based Pediatric Resuscitation Training for Medical Students.	Pediatr Emerg Care. 2017 Aug;33(8):564-569.	Others



78	Masaki Shimizu, Tetsujiro Shirahashi, Mao Mizuta 他	小児科	Extracranial Carotid Aneurysm in Takayasu Arteritis.	J Clin Rheumatol. 2017 Aug;23(5):289.	Others
79	Masaki Shimizu, Yasuo Nakagish, Natsumi Inoue 他	小児科	Leucine-rich alpha 2-glycoprotein as the acute-phase reactant to detect systemic juvenile idiopathic arthritis disease activity during anti-interleukin-6 blockade therapy: A case series.	Mod Rheumatol. 2017 Sep;27(5):833-837.	Original Article
80	Taizo Wada, Tomoko Toma, Yusuke Matsuda 他	小児科	Microarray analysis of circulating microRNAs in familial Mediterranean fever.	Mod Rheumatol. 2017 Nov;27(6):1040-1046.	Original Article
81	Mao Mizuta, Masaki Shimizu, Yasuo Nakagishi 他	小児科	Bicipital synovial cyst associated with systemic juvenile idiopathic arthritis: new insights obtained from unique pathological findings.	Int J Rheum Dis. 2017 Dec;20(12):2242-2244.	Letter
82	Masaki Shimizu, Natsumi Inoue, Mondo Kuroda 他	小児科	Serum ferritin as an indicator of the development of encephalopathy in enterohemorrhagic Escherichia coli-induced hemolytic uremic syndrome.	Clin Exp Nephrol. 2017 Dec;21(6):1083-1087.	Original Article
83	Maiko Takakura, Masaki Shimizu, Mao Mizuta 他	小児科	Successful treatment of rituximab- and steroid-resistant nephrotic syndrome with leukocytapheresis.	J Clin Apher. 2018 Jan 16.	Others

84	Yasuhiro Ikawa, Ryosei Nishimura, Hideaki Maeba 他	小児科	Deep spontaneous molecular remission in a patient with congenital acute myeloid leukemia expressing a novel MOZ-p300 fusion transcript.	Leuk Lymphoma. 2018 Feb 12:1-3.	Letter
85	Toshihiro Fujiki, Ryosei Nishimura, Yasuhiro Ikawa 他	小児科	Hearing impairment accompanied with low-tone tinnitus during all trans retinoic acid containing chemotherapy.	Pediatr Blood Cancer. 2018 Mar;65(3).	Letter
86	Shimizu M, Inoue N, Mizuta M 他	小児科	Characteristic elevation of soluble TNF receptor II : I ratio in macrophage activation syndrome with systemic juvenile idiopathic arthritis.	Clin Exp Immunol. 2018 Mar;191(3):349-355.	Original Article
87	Kikuchi M, Takahashi T, Hirosawa T 他	子どものこころの診療科	The Lateral Occipito-temporal Cortex Is Involved in the Mental Manipulation of Body Part Imagery.	Front Hum Neurosci. 2017 Apr 11;11:181. doi: 10.3389/fnhum.2017.00181.	Original Article
88	Kumazaki H, Warren Z, Swanson A 他	子どものこころの診療科	Impressions of Humanness for Android Robot may Represent an Endophenotype for Autism Spectrum Disorders.	J Autism Dev Disord 2018 Feb;48(2):632-634. doi: 10.1007/s10803-017-3365-0.	Original Article
89	Kumazaki H, Muramatsu T, Yoshikawa Y 他	子どものこころの診療科	Tele-Operating an Android Robot to Promote the Understanding of Facial Expressions and to Increase Facial Expressivity in Individuals With Autism Spectrum Disorder.	Am J Psychiatry 2017 Sep 1;174(9):904-905. doi: 10.1176/appi.ajp.2017.17030257.	Original Article

90	Kumazaki H, Warren Z, Muramatsu T 他	子どものこころの診療科	A pilot study for robot appearance preferences among high-functioning individuals with autism spectrum disorder: Implications for therapeutic use.	PLoS One. 2017 Oct 13;12(10):e0186581. doi: 10.1371/journal.pone.0186581. eCollection 2017.	Original Article
91	Kumazaki H, Warren Z, Corbett BA 他	子どものこころの診療科	Android Robot-Mediated Mock Job Interview Sessions for Young Adults with Autism Spectrum Disorder: A Pilot Study.	Front Psychiatry. 2017 Sep 11;8:169. doi: 10.3389/fpsy.2017.00169. eCollection 2017.	Original Article
92	Kumazaki H, Yoshikawa Y, Matsumoto Y 他	子どものこころの診療科	An Intervention for Children with Social Anxiety and Autism Spectrum Disorders Using an Android Robot.	Lecture Notes in Computer Science. 10091. 470-477. DOI: 10.1007/978-3-319-50953-2_34.	Original Article
93	Yoshimura Y, Kikuchi M, Hayashi N 他	子どものこころの診療科	Altered human voice processing in the frontal cortex and a developmental language delay in 3- to 5-year-old children with autism spectrum disorder	Scientific Reports 2017 Dec 7;7(1):17116. doi: 10.1038/s41598-017-17058-x.	Original Article
94	Kumazaki H, Warren Z, Swanson A 他	子どものこころの診療科	Can Robotic Systems Promote Self-Disclosure in Adolescents with Autism Spectrum Disorder? A Pilot Study	Front Psychiatry. 2018 Feb 9;9:36. doi: 10.3389/fpsy.2018.00036. eCollection 2018.	Original Article
95	Yoneda N, Matsui O, Kitao A 他	放射線科	Peri-tumoral hyperintensity on hepatobiliary phase of gadoxetic acid-enhanced MRI in hepatocellular carcinomas: correlation with peri-tumoral hyperplasia and its pathological features	Abdom Radiol 2017 Dec 19	Original Article

96	Yoshida K, Matsui O, Miyayama S 他	放射線科	Isolated Arteries Originating from the Intrahepatic Arteries: Anatomy, Function, and Importance in Intervention	J Vasc Interv Radiol. 2018 Feb 22. (17)31084-9.	Review
97	Kitao A, Matsui O, Yoneda N 他	放射線科	Gadoxetic acid- enhanced magnetic resonance imaging reflects co-activation of $\beta$ -catenin and hepatocyte nuclear factor 4 $\alpha$ in hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res 2018 Feb, 48(2):205-216	Original Article
98	Okumura K, Yoshida K, Yoshioka K 他	放射線科	Photoacoustic imaging of tumor vascular permeability with indocyanine green in a mouse model	European Radiology Experimental 2018, 2:5	Original Article
99	Mizuhata M, Takamatsu S, Shibata S 他	放射線治療科	Respiratory-gated Proton Beam Therapy for Hepatocellular Carcinoma Adjacent to the Gastrointestinal Tract without Fiducial Markers	Cancers (Basel) 2018 Feb , 21;10(2)E58	Original Article
100	Takamatsu S, Kozaka K, Kobayashi S 他	放射線治療科	Pathology and images of radiation-induced hepatitis: a review article	Jpn J Radiol. 2018 doi: 10.1007/s1160 4-018-0728-1.	Review
101	Matsushita T, Takehara K	皮膚科	An update on biomarker discovery and use in systemic sclerosis	Expert Rev Mol Diagn 2017 Sep,17 (9), 823-833	Review

102	Matsushita T, Date M, Kano M 他	皮膚科	Blockade of p38 Mitogen-Activated Protein Kinase Inhibits Murine Sclerodermatous Chronic Graft-versus-Host Disease	Am J Pathol 2017 Apr, 187 (4), 841-850	Original Article
103	Oishi K, Nakao M, Maeda S 他	皮膚科	A case of aseptic meningitis without neck rigidity occurring in a metastatic melanoma patient treated with ipilimumab	Eur J Dermatol 2017 Apr, 27 (2), 193-194	Original Article
104	Hamaguchi Y, Kuwana M, Takehara K	皮膚科	Comparison of anti-OJ antibody detection assays between an immunoprecipitation assay and line blot assay	Mod Rheumatol 2017 May, 27 (3), 551-552	Original Article
105	Matsushita T, Takehara K, Oishi K 他	皮膚科	Case of anti-transcriptional intermediary factor-1-positive dermatomyositis associated with breast cancer developing over 10 years	J Dermatol 2017 Aug, 44 (8), 972-973	Letter
106	Hamaguchi Y, Sumida T, Kawaguchi Y 他	皮膚科	Safety and tolerability of bosentan for digital ulcers in Japanese patients with systemic sclerosis: Prospective, multicenter, open-label study	J Dermatol 2017, 44(1), 13-17	Original Article
107	Shintani Y, Iino K, Yamamoto Y 他	心臓血管外科	Analysis of Computational Fluid Dynamics and Particle Image Velocimetry Models of Distal-End Side-to-Side and End-to-Side Anastomoses for Coronary Artery Bypass Grafting in a Pulsatile Flow.	Circ J 2017 Dec 25;82(1):110-117	Original Article

108	Yamamoto Y, Iino K, Shintani Y 他	心臓血管外科	Comparison of Aortic Annulus Dimension After Aortic Valve Neocuspidization With Valve Replacement and Normal Valve.	Semin Thorac Cardiovasc Surg 2017 Summer;29(2):143-149	Original Article
109	Yamamoto Y, Iino K, Ueda H 他	心臓血管外科	Coronary Artery Bypass Grafting in a Patient With Polyarteritis Nodosa.	Ann Thorac Surg 2017 May;103(5):e431-e433	Case report
110	Tamura M, Matsumoto I, Saito D 他	呼吸器外科	Mean computed tomography value to predict the tumor invasiveness in clinical stage IA lung cancer	Ann Thorac Surg 2017 Jul;104(1):261-266	Original Article
111	Saito H, Fushida S, Miyashita T 他	胃腸外科	Potential of extravasated platelet aggregation as a surrogate marker for overall survival in patients with advanced gastric cancer treated with preoperative docetaxel, cisplatin and S-1: a retrospective observational study.	BMC Cancer 2017.04 , 17(1):294 doi: 10.1186/s12885-017-3279-4	Original Article
112	Yamaguchi T, Fushida S, Yamamoto Y 他	胃腸外科	Low-dose paclitaxel suppresses the induction of M2 macrophages in gastric cancer.	Oncology Reports 2017.06, 37(6): 3341-3350	Original Article
113	Ninomiya I, Okamoto K, Fushida S 他	胃腸外科	Efficacy of CO2 insufflation during thoracoscopic esophagectomy in the left lateral position	General Thoracic and Cardiovascular Surgery 2017.10,65: 587-593	Original Article

114	Saito H, Fushida S, Harada S 他	胃腸外科	Importance of human peritoneal mesothelial cells in the progression, fibrosis, and control of gastric cancer: inhibition of growth and fibrosis by tranilast.	Gastric Cancer 2018.01,21(1):5 5-67	Original Article
115	Tajima H, Makino I, Ohbatake Y 他	肝胆膵・移植外科	Neoadjuvant chemotherapy for pancreatic cancer: Effects on cancer tissue and novel perspectives. (Review)	Oncology Letters 2017.06,13(6): 3975-3981	Original Article
116	Terakawa H, Kitagawa H, Makino I 他	肝胆膵・移植外科	Location of the meso-pancreatoduodenum as a regional lymphatic basin for pancreatic head carcinoma	Oncology Letters 2017.07, 14(1): 397-403	Original Article
117	Hayashi H, Takamura H, Gabata R 他	肝胆膵・移植外科	Congestive Preconditioning by Portal Venous Clamping: A Novel Preventive Concept for Small Intestinal Congestive Re-Outflow Injury	Annals of Transplantation 2017.08, 22:493-498	Original Article
118	Nakanuma S, Miyashita T, Hayashi H 他	肝胆膵・移植外科	Von Willebrand Factor Deposition and ADAMTS-13 Consumption in Allograft Tissue of Thrombotic Microangiopathy-like Disorder After Living Donor Liver Transplantation: A Case Report	Transplantation Proceedings 2017.09,49(7):1 596-1603	Case report
119	Hayashi H, Takamura H, Gabata R 他	肝胆膵・移植外科	Induction of Artificial Pancreas in Liver Transplant Recipients: Preliminary Experience with an Insightful Message	Annals of Transplantation 2017.10, 22:590-597	Original Article

120	Miyashita T, Miki K, Kamigaki T 他	肝胆膵・移植外科	Low-dose valproic acid with low-dose gemcitabine augments MHC class I-related chain A/B expression without inducing the release of soluble MHC class I-related chain A/B	Oncology Letters 2017.11,14(5): 5918-5926	Original Article
121	Sakurai K, Miyashita T, Okazaki M 他	肝胆膵・移植外科	Role for Neutrophil Extracellular Traps (NETs) and Platelet Aggregation in Early Sepsis-induced Hepatic Dysfunction	In Vivo. 2017.11-12,31(6):1051-1058	Original Article
122	Miyashita T, Tajima H, Makino I 他	肝胆膵・移植外科	Neoadjuvant Chemotherapy with Gemcitabine Plus Nab-paclitaxel Reduces the Number of Cancer-associated Fibroblasts Through Depletion of Pancreatic Stroma.	Anticancer Research 2018.01,38(1): 337-343	Original Article
123	Miyashita T, Kono T, Matsui D 他	肝胆膵・移植外科	Preventive effect of oral hangeshashinto (TJ-14) on the development of reflux-induced esophageal cancer	Surgery E-pub:2018.03	Original Article
124	Hayashi K, Yamamoto N, Shirai T 他	整形外科	Sequential histological findings and clinical response after carbon ion radiotherapy for unresectable sarcoma	Clinical and Translational Radiation Oncology 2017 Feb, 2:41-45	Original Article
125	Hayashi K, Niu X, Tang X 他	整形外科	Experience of total scapular excision for musculoskeletal tumor and reconstruction in eastern Asian countries	Journal of Bone Oncology 2017 Nov 9:55-58	Original Article



126	Kato S, Murakami H, Inaki A 他	整形外科	Innovative exercise device for the abdominal trunk muscles: An early validation study	PLoS One 2017 Feb 12: e0172934	Original Article
127	Igarashi K, Kawaguchi K, Kiyuna T 他	整形外科	Patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) mouse model of adult rhabdomyosarcoma invades and recurs after resection in contrast to the subcutaneous ectopic model	Cell Cycle 2017,16: 91-94	Original Article
128	Igarashi K, Kawaguchi K, Kiyuna T 他	整形外科	Antimetastatic Efficacy of the Combination of Caffeine and Valproic Acid on an Orthotopic Human Osteosarcoma Cell Line Model in Nude Mice	Anticancer Res 2017, 37: 1005-1011	Original Article
129	Igarashi K, Kawaguchi K, Kiyuna T 他	整形外科	Temozolomide combined with irinotecan caused regression in an adult pleomorphic rhabdomyosarcoma patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude-mouse model	Oncotarget 2017 Sep, 24: 75874-75880	Original Article
130	Igarashi K, Kawaguchi K, Murakami T 他	整形外科	A novel anionic-phosphate-platinum complex effectively targets an undifferentiated pleomorphic sarcoma better than cisplatin and doxorubicin in a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX)	Oncotarget 2017 Sep,8: 63353-63359	Original Article
131	Igarashi K, Murakami T, Kawaguchi K 他	整形外科	A patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) mouse model of a cisplatin-resistant osteosarcoma lung metastasis that was sensitive to temozolomide and trabectedin: implications for precision oncology	Oncotarget 2017 Jul ,8: 62111-62119	Original Article

132	Igarashi K, Kawaguchi K, Kiyuna T 他	整形外科	Efficacy In Vitro of Caffeine and Valproic Acid on Patient- Derived Undifferentiated Pleomorphic Sarcoma and Rhabdomyosarcoma Cell Lines	Anticancer Res 2017 AUG,37: 4081-4084	Original Article
133	Igarashi K, Kawaguchi K, Murakami T 他	整形外科	High Efficacy of Pazopanib on an Undifferentiated Spindle-Cell Sarcoma Resistant to First-Line Therapy Is Identified With a Patient-Derived Orthotopic Xenograft (PDOX) Nude Mouse Model	J Cell Biochem 2017 Sep,118: 2739-2743	Original Article
134	Igarashi K, Kawaguchi K, Kiyuna T 他	整形外科	Effective Metabolic Targeting of Human Osteosarcoma Cells In Vitro and in Orthotopic Nude-mouse Models with Recombinant Methioninase	Anticancer Res 2017 Sep,37: 4807-4812	Original Article
135	Shinmura K, Murakami H, Demura S 他	整形外科	A histological examination of spinal reconstruction using a frozen bone autograft.	PLoS One 2018 Jan 25;13(1)	Original Article
136	Igarashi K, Kawaguchi K, Kiyuna T 他	整形外科	Temozolomide combined with irinotecan regresses a cisplatinum-resistant relapsed osteosarcoma in a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) precision- oncology mouse model	Oncotarget 2017 DEC,9: 7774-7781	Original Article
137	Suganuma S, Tada K, Yamamoto D 他	整形外科	Galeazzi-equivalent Fractures: Report of Two Cases and Literature Review	J Hand Surg Asian Pac 2017,22: 232- 235	Original Article

138	Inoue D, Kabata T, Ohtani K 他	整形外科	Inhibition of biofilm formation on iodine-supported titanium implants	Int Orthop 2017 Apr, 41: 1093-1099	Original Article
139	Takata Y, Nakase J, Toratani T 他	整形外科	Conscious performance and arthroscopic findings in athletes with anterior cruciate ligament injuries treated via conservative therapy during the competitive season	J Orthop Surg (Hong Kong) 2017, 25: 2309499016684 751	Original Article
140	Yonezawa N, Murakami H, Kato S 他	整形外科	Giant cell tumor of the thoracic spine completely removed by total spondylectomy after neoadjuvant denosumab therapy	Eur Spine J 2017 Apr ,26: 236-242	Original Article
141	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Differences in range of motion with the same combined anteversion after total hip arthroplasty	Int Orthop 2017 Oct 9. [Epub]	Original Article
142	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	The accuracy of the "projected surgical transepicondylar axis" relative to the "true surgical transepicondylar axis" in total knee arthroplasty	Knee 2017 Oct 1. [Epub]	Original Article
143	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Effectiveness and Safety of Needle Medial Collateral Ligament Pie-Crusting in Total Knee Arthroplasty: A Cadaveric Study	J Knee Surg 2017 Sep 5. [Epub]	Original Article

144	Ohmori T, Kabata T, Maeda T 他	整形外科	Increase in safe zone area of the acetabular cup using dual mobility cups in THA	Hip Int 2017 Jul ,27: 361-367	Original Article
145	Ohmori T, Kabata T, Maeda T 他	整形外科	Selection of a surgical approach for total hip arthroplasty according to the depth to the surgical site	Hip Int 2017 Jul ,27 271-280	Original Article
146	Yoshitani J, Nakamura T, Ueshima K 他	整形外科	Reliability of radiographic evaluations of the stage of osteoarthritis of the hip joint and an approach to improve the staging criteria	J Orthop Sci 22: 905-908, 2017	Original Article
147	Araki Y, Yoshida A, Chuman H 他	整形外科	Angioleiomyoma mimicking pes anserinus bursitis: A case report	J Dermatol 2017 Aug,44: 194-195	Case report
148	Rosario MS, Murakami H, Kato S 他	整形外科	Solitary thoracic intramedullary spinal neurofibroma microsurgically extirpated via recapping T-saw laminoplasty	J Orthop Surg (Hong Kong) 2017,25: 2309499017691003	Case report
149	Shigehara K, Mizokami A.	泌尿器科	Editorial Comment to Influence of dutasteride treatment on serum hormone levels and aging male symptoms in patients with benign prostatic enlargement.	Int J Urol 2018 Jan;25(1):74-75.	Others

150	Shigehara K, Konaka H, Nohara T 他	泌尿器科	Effects of testosterone replacement therapy on metabolic syndrome among Japanese hypogonadal men: A subanalysis of a prospective randomised controlled trial (EARTH study).	Andrologia 2018 Feb;50(1):e1281-5.	Original Article
151	Urata S, Kitagawa Y, Matsuyama S 他	泌尿器科	Optimal screening interval for men with low baseline prostate-specific antigen levels ( $\leq 1.0$ ng/mL) in a prostate cancer screening program.	World J Urol 2017 Apr;35(4):579-586.	Original Article
152	Maolake A, Izumi K, Shigehara K 他	泌尿器科	Tumor-associated macrophages promote prostate cancer migration through activation of the CCL22-CCR4 axis.	Oncotarget 2017 8(6):9739-9751.	Original Article
153	Kadono Y, Machioka K, Nakashima K 他	泌尿器科	Changes in penile length after radical prostatectomy: investigation of the underlying anatomical mechanism.	BJU Int 2017 Aug;120(2):293-299.	Original Article
154	Izumi K, Mizokami A, Namiki M 他	泌尿器科	Enzalutamide versus abiraterone as a first-line endocrine therapy for castration-resistant prostate cancer (ENABLE study for PCa): a study protocol for a multicenter randomized phase III trial.	BMC Cancer 2017 Oct 10;17(1):677	Original Article
155	Izumi K, Shigehara K, Nohara T 他	泌尿器科	Both High and Low Serum Total Testosterone Levels Indicate Poor Prognosis in Patients with Prostate Cancer.	Anticancer Res. 2017 Oct;37(10):5559-5564.	Original Article

156	Izumi K, Shigehara K, Nohara T 他	泌尿器科	Androgen replacement therapy for cancer-related symptoms in male advanced cancer patients: study protocol for a randomised prospective trial (ARTFORM study).	J Med Invest 2017;64(3.4):202-204.	Original Article
157	Kadono Y, Kawaguchi S, Nohara T 他	泌尿器科	Evaluation of Factors Affecting Metastasis for Renal Cell Carcinoma Based on Current Guidelines in Japan.	Anticancer Res 2017 Sep;37(9):5147-5153.	Original Article
158	Yaegashi H, Shigehara K, Itoda I 他	泌尿器科	Human papillomavirus prevalence in the anus and urine among HIV-infected Japanese men who have sex with men.	J Infect Chemother 2017 Sep;23(9):621-626.	Original Article
159	Mizokami A, Kadono Y, Kitagawa Y 他	泌尿器科	Therapies for castration-resistant prostate cancer in a new era: The indication of vintage hormonal therapy, chemotherapy and the new medicines.	Int J Urol 2017 Aug;24(8):566-572.	Original Article
160	Shigehara K, Izumi K, Mizokami A 他	泌尿器科	Testosterone Deficiency and Nocturia: A Review.	World J Mens Health 2017 Apr;35(1):14-21.	Review
161	Shigehara K, Konaka H, Koh E 他	泌尿器科	Effects of testosterone replacement therapy on hypogonadal men with osteopenia or osteoporosis: a subanalysis of a prospective randomized controlled study in Japan (EARTH study).	Aging Male 2017 Sep;20(3):139-145.	Original Article

162	Kobayashi A, Yokogawa H, Masaki T 他	眼科	Association of fluorescein anterior corneal mosaic and corneal K-structures by in vivo laser confocal microscopy in patients with keratoconus	Clinical Ophthalmology 11:1359-1363, 2017	Original Article
163	Takemoto D, Higashide T, Saito Y 他	眼科	Intraocular pressure and visual field changes in normal-tension glaucoma patients treated using either unoprostone or latanoprost: a prospective comparative study	Clinical Ophthalmology 11:1617-1624, 2017	Original Article
164	Okuda T, Higashide T, Sugiyama K	眼科	Metamorphopsia and outer retinal morphologic changes after successful vitrectomy surgery for macula-off rhegmatogenous retinal detachment.	Retina 38(1): 148-154, 2018	Original Article
165	Nishino T, Kobayashi A, Mori N 他	眼科	Clinical evaluation of a novel surgical technique (large cross incision) for conjunctival cysts.	Can J Ophthalmol. 53(1):e36-e39, 2018	Original Article
166	Udagawa S, Ohkubo S, Iwase A 他	眼科	The effect of concentric constriction of the visual field to 10 and 15 degrees on simulated motor vehicle accidents.	PLoS One. 13(3):e0193767	Original Article
167	Sugimoto H, Hatano M, Noda M 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Endoscopic management of petrous apex cholesteatoma	Eur Arch Otorhinolaryngol 2017 Dec; 274•12、4127-30	Original Article

168	Kondo S, Endo K, Wakisaka N 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Expression of interferon regulatory factor 7 correlates with the expression of Epstein-Barr Virus latent membrane protein 1 and cervical lymph node metastasis in nasopharyngeal cancer	Pathology International 2017 Sep、67・9、461-6	Original Article
169	Ito M, Maruyama Y, Kitamura K 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Randomized controlled trial of juten-taiho-to in children with recurrent acute otitis media	Auris Nasus Larynx 2017 AUG、44・4、390-7	Original Article
170	Sugimoto H, Hatano M, Noda M 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Reply to the Letter to the Editor concerning "Combined microscopic/endoscopic management of petrous apex lesions"	Eur Arch Otorhinolaryngol 2018 Jan、275・1、323	Original Article
171	Kobayashi E, Aga M, Kondo S 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C-Terminal Farnesylation of UCH-L1 Plays a Role in Transport of Epstein-Barr Virus Primary Oncoprotein LMP1 to Exosomes	mShpere 2018 Feb、3・1、e00030-18	Original Article
172	Seishima N, Kondo S, Wakae K 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Expression and subcellular localisation of AID and APOBEC3 in adenoid and palatine tonsils	scientific reports 2018 Jan、17・8、918	Original Article
173	Matsuoka A, Sasaki H, Sugimori C 他	産科婦人科	Acquired hemophilia A manifesting as plasma transfusion-uncontrolled severe bleeding 2 weeks after chorioamnionitis-induced abortion.	J Obstet Gynaecol Res 2017 Apr、43(4):763-767	Case report



174	Iizuka T, Wakae K, Nakamura M 他	産科婦人科	APOBEC3G is increasingly expressed on the human uterine cervical intraepithelial neoplasia along with disease progression.	Am J Reprod Immunol. 2017 Oct;78(4),1-9	Original Article
175	Kanda T, Iizuka T, Yamazaki R 他	産科婦人科	Giant fetal hydrometrocolpos associated with cloacal anomaly causing postnatal respiratory distress.	J Obstet Gynaecol Res. 2017 Nov;43(11):1769-1772	Case report
176	Orisaka S, Kagami K, Mizumoto Y 他	産科婦人科	Successful detection of SRY gene via fine needle biopsy: A case of extragenital gestational choriocarcinoma in the kidney	Mol Clin Oncol. 2017 Dec;7(6):1057-1060	Case report
177	Obata T, Nakamura M, Mizumoto Y 他	産科婦人科	Dual expression of immunoreactive estrogen receptor $\beta$ and p53 is a potential predictor of regional lymph node metastasis and postoperative recurrence in endometrial endometrioid carcinoma	PLoS One. 2017 Nov ;12(11):e0188641	Original Article
178	Kagami K, Shinmyo Y, Ono M 他	産科婦人科	Three-dimensional visualization of intrauterine conceptus through the uterine wall by tissue clearing method.	Sci Rep. 2017 Jul ;7(1):5964	Original Article
179	Matsumoto T, Mizumoto Y, Nakade K 他	産科婦人科	Subserous invasion of VEGF-C-producing cancer cells is a possible risk factor for ileal ulceration in the non-metastatic mucosal layer during bevacizumab-combined chemotherapy for recurrent ovarian cancer: A case report.	Mol Clin Oncol. 2017 Nov;7(5):820-824	Case report

180	Nakajima K, Okuda K, Matsuo S 他	核医学診療科	Comparison of phase dyssynchrony analysis using gated myocardial perfusion imaging with four software programs: based on the Japanese Society of Nuclear Medicine working group normal database	J Nucl Cardiol 2017 Apr;24: 611-621	Original Article
181	Nakajima K, Verschure DO, Okuda K 他	核医学診療科	Standardization of 123I-meta-iodobenzylguanidine myocardial sympathetic activity imaging: phantom calibration and clinical applications	Clin Transl Imaging 2017,5: 255-263	Original Article
182	Nakajima K, Edenbrandt L, Mizokami A	核医学診療科	Bone scan index: a new biomarker of bone metastasis in patients with prostate cancer	Int J Urol 2017 Sep,24: 668-673	Review
183	Nakajima K, Okuda K	核医学診療科	123I-metaiodobenzylguanidine sympathetic nerve function indices derived from planar images	Ann Nucl Cardiol 2017,3; 200-202	Review
184	Inaki A, Yoshimura K, Murayama T 他	核医学診療科	A phase I clinical trial for [131I]meta-iodobenzylguanidine therapy in patients with refractory pheochromocytoma and paraganglioma: a study protocol	J Med Invest 2017,64(3,4): 205-209	Original Article
185	Nakajima K, Okuda K, Yokoyama K 他	核医学診療科	Cross-calibration of 123I-metaiodobenzylguanidine heart-to-mediastinum ratio with D-SPECT planogram and Anger camera	Ann Nucl Med 2017 Oct,31(8): 605-615	Original Article

186	Watanabe S, Nakajima K, Mizokami A 他	核医学診療科	Bone scan index of the jaw: a new approach for evaluating early-stage anti-resorptive agents-related osteonecrosis	Ann Nucl Med 2017 Apr,31(3): 201-210	Original Article
187	Nakajima K, Okuda K, Matsuo S 他	核医学診療科	Making the invisible visible - Phase dyssynchrony has potential as a new prognostic marker	J Nucl Cardiol 2017,25: doi: 10.1007/s1235 0-017-0929-5	Others
188	Nakajima K	核医学診療科	Another way to increase nuclear cardiology experience: novel JSNC e-learning course	Ann Nucl Cardiol 2017,3: 203-204	Others
189	Nakajima K, Ouda K, Verberne HJ	核医学診療科	Phase dyssynchrony and 123I-meta-iodobenzylguanidine innervation imaging towards standardization	J Nucl Cardiol 2017 Sep,18: doi: 10.1007/s1235 0-017-1069-7	Others
190	Ishimiya M, Nakamura H, Kobayashi Y 他	歯科口腔外科	Tooth loss-related dietary patterns and cognitive impairment in an elderly Japanese population: The Nakajima study	PLoS One 2018 Mar 13(3):e0194504	Original Article
191	Yoneyama H, Shibutani T, Konishi T 他	放射線部	Validation of Left Ventricular Ejection Fraction with the IQ-SPECT System in Small-Heart Patients	Journal of Nuclear Medicine Technology 2017 Sep;45(3):201- 207.	Original Article

192	Konishi T, Nakajima K, Okuda K 他	放射線部	IQ-SPECT for thallium-201 myocardial perfusion imaging: effect of normal databases on quantification	Annals of Nuclear Medicine July 2017, Volume 31, Issue 6, pp 454-461	Original Article
193	Yoshikazu Goto, Akira Funada, Yumiko Goto	救急科	Conventional versus chest-compression-only cardiopulmonary resuscitation by bystanders for children with out-of-hospital cardiac arrest.	Resuscitation 2018 Jan,122:126-134	Original Article
194	Yoshikazu Goto, Akira Funada, Yumiko Goto	救急科	Reply to: Over time, differences in survival and favorable neurologic outcomes between conventional and compression-only cardiopulmonary resuscitation have been gradually reduced in pediatric out-of-hospital cardiac arrest.	Resuscitation 2018 Mar,124:e9-e10	Letter
195	Funada A, Goto Y, Maeda T 他	救急科	Prehospital predictors of neurological outcomes in out-of-hospital cardiac arrest patients aged 95 years and older: A nationwide population-based observational study.	J Cardiol. 2017 Jan 69(1):340-344	Original Article
196	Teramoto R, Fujino N, Konno T, Nomura A 他	救急科	Late Gadolinium Enhancement for Prediction of Mutation-Positive Hypertrophic Cardiomyopathy on the Basis of Panel-Wide Sequencing.	Circ J. 2018 Mar 82(4):1139-1148	Original Article
197	Teramoto R, Tada H, Kawashiri M 他	救急科	Molecular and functional characterization of familial chylomicronemia syndrome.	Atherosclerosis . 2018 Feb ,269:272-278	Original Article

198	Funada A, Goto Y, Tada H 他	救急部	Age-Specific Differences in the Duration of Prehospital Cardiopulmonary Resuscitation Administered by Emergency Medical Service Providers Necessary to Achieve Favorable Neurological Outcome After Out-of-Hospital Cardiac Arrest.	Circ J. 2017 Apr 25;81(5):652-659.	Original Article
199	Funada A, Goto Y, Tada H 他	救急部	Duration of cardiopulmonary resuscitation in patients without prehospital return of spontaneous circulation after out-of-hospital cardiac arrest: Results from a severity stratification analysis.	Resuscitation. 2018 Mar;124:69-75	Original Article
200	Tada H, Kawashiri MA, Yamagishi M	救急部	Comprehensive genotyping in dyslipidemia: mendelian dyslipidemias caused by rare variants and Mendelian randomization studies using common variants	J Hum Genet 2017 Apr;62(4):453-458,	Review
201	Tada H, Kawashiri MA, Nohara A 他	救急部	Impact of clinical signs and genetic diagnosis of familial hypercholesterolaemia on the prevalence of coronary artery disease in patients with severe hypercholesterolaemia	Eur Heart J 2017 May 21;38(20):1573-1579	Original Article
202	Tada H, Kawashiri MA, Sakata K 他	救急部	Renal glucosuria is not associated with atherosclerotic cardiovascular disease outcome in a general Japanese community	Atherosclerosis 2017 Jun;261:111-116	Original Article
203	Tada H, Kawashiri MA, Yamagishi M	救急部	Clinical Perspectives of Genetic Analyses on Dyslipidemia and Coronary Artery Disease	J Atheroscler Thromb 2017 May 1;24(5):452-461	Review

204	Tada H, Kawashiri MA, Yamagishi M	救急部	Do We Expect Any Pleiotropic Effect of Proprotein Convertase Subtilisin/Kexin Type 9 Inhibition for Reducing Cardiovascular Events Beyond Low-Density Lipoprotein Cholesterol Reduction?	Circ J 2017 Jul 25;81(8):1098-1099	Others
205	Tada H, Kawashiri MA, Okada H 他	救急部	Assessments of Carotid Artery Plaque Burden in Patients With Familial Hypercholesterolemia	Am J Cardiol 2017 Dec 1;120(11):1955-1960	Original Article
206	Tada H, Kawashiri MA, Nohara A 他	救急部	Assessment of arterial stiffness in patients with familial hypercholesterolemia	J Clin Lipidol 2018 Mar - Apr;12(2):397-402.e2	Original Article
207	Nomura A, Won HH, Khera AV 他	先端医療開発センター	Protein-Truncating Variants at the Cholesteryl Ester Transfer Protein Gene and Risk for Coronary Heart Disease.	Circ Res. 2017 Jun 121(1):81-88	Original Article
208	Itai S, Suga Y, Hara Y 他	薬剤部	Co-administration of Dexamethasone Increases Severity and Accelerates Onset Day of Neutropenia in Bladder Cancer Patients on Methotrexate, Vinblastin, Adriamycin and Cisplatin Chemotherapy: A Retrospective Cohort Study	Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences (2017) 3:3	Original Article

5件

計 208件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of print やin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 審査対象に関する事項、委員会の組織に関する事項、委員会の会議に関する事項、申請手続き及び結果の報告に関する事項、疑義申立てに関する事項、迅速審査に関する事項、実施状況の調査等に関する事項、資料の入手に関する事項、委員会の運営に関する事項、記録の保存に関する事項	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 1 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 委員会の目的及び職務に関する事項、委員会の組織及び組織運営に関する事項	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 5 回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 2 回
・ 研修の主な内容 臨床研究の研究責任者、研究分担者その他の研究の実施に携わる者又は今後研究の実施に携わる予定の者を対象に、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に関する事項、研究デザインに関する事項、臨床研究の品質保証に関する事項、その他医学系研究の実施に当たり必要となる知識・技術等に関連する事項について講習会を実施	

- (注) 前年度の実績を記載すること。



(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科（部）に所属し、大学病院（医員など）及び関連病院を循環しながら修練を行い、それぞれの学会等の専門医、あるいは認定医の資格の取得を目指すコースです。内科プログラム（所属する臓器別内科（診療科）の他の内科系診療科でも修練を行う等複数の診療科が協力連携して実施するプログラム）や総合診療を専門とする医師となるプログラムも可能となっています。診療技術の習得だけでなく、臨床研究も行うことが可能です。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	154 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
金子 周一	消化器内科	科長	36年	
篁 俊成	内分泌・代謝内科	科長	30年	
川野 充弘	リウマチ・膠原病内科	科長	31年	
川尻 剛照	循環器内科	副科長	24年	
和田 隆志	腎臓内科	科長	30年	
笠原 寿郎	呼吸器内科	科長	32年	
中尾 眞二	血液内科	科長	38年	
野村 英樹	総合診療科	科長	30年	
山田 正仁	神経内科	科長	38年	
三邊 義雄	神経科精神科	科長	40年	
谷内江 昭宏	小児科	科長	39年	
香田 渉	放射線科	科長	23年	
熊野 智康	放射線治療科	科長	20年	
竹原 和彦	皮膚科	科長	39年	
小川 恵子	漢方医学科	科長	21年	
森山 秀樹	内分泌・総合外科	科長	16年	
竹村 博文	心臓血管外科	科長	33年	
松本 勲	呼吸器外科	科長	27年	
太田 哲生	肝胆膵・移植外科	科長	39年	
伏田 幸夫	乳腺科	科長	23年	
伏田 幸夫	胃腸外科	科長	32年	
土屋 弘行	整形外科	科長	35年	
溝上 敦	泌尿器科	科長	31年	
杉山 和久	眼科	科長	34年	
吉崎 智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	科長	32年	
藤原 浩	産科婦人科	科長	35年	
谷口 巧	麻酔科蘇生科	科長	27年	
中田 光俊	脳神経外科	科長	24年	
絹谷 清剛	核医学診療科	科長	32年	
八幡 徹太郎	リハビリテーション科	科長	26年	
後藤 由和	救急科	科長	34年	
谷口 巧	集中治療部	科長	27年	
矢野 聖二	がんセンター	センター長	28年	
川尻 秀一	歯科口腔外科	科長	30年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

- ・新規採用職員オリエンテーション（詳細別紙）

新規採用職員に対し、本院職員として職務遂行に必要な知識及び心構え等の基本的な事項を習得させ、資質向上と業務効率の増進を図ることを目的とする。

・研修の期間・実施回数

- ・平成29年4月3日（月）～平成29年4月5日（水）

・研修の参加人数

- ・125名（うち、医師・歯科医師以外の者は87名）

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

1. 情報セキュリティ研修
2. 安全衛生講習会（暴言暴力から身を守る技）
3. ダイバーシティ研修
4. ハラスメント防止研修

・研修の期間・実施回数

1. 平成29年7月4日（火）～平成30年3月16日（金）※e-ラーニング
2. 平成29年9月22日（金）
3. 平成30年2月20日（火）～平成30年3月20日（火）※e-ラーニング
4. 平成30年2月20日（火）～平成30年3月20日（火）※e-ラーニング

・研修の参加人数

1. 998名

2. 291名

3. 527名

4. 1,309名（大学全体で）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## 平成29年度新規採用職員オリエンテーション実施要項

- 1 目的 新規採用職員に対し、本院職員として職務遂行に必要な知識及び心構え等の基本的な事項を習得させ、資質の向上と業務能率の増進を図ることを目的とする。
- 2 期間 平成29年4月3日（月）、4日（火）、5日（水） 3日間
- 3 場所 外来診療棟4階 宝ホール
- 4 対象者 125名（平成29年4月1日現在）  
内訳：研修医 38名  
1年：21名（うち歯科：2名）、2年：17名  
看護部 68名  
その他 19名
- 5 内容 詳細は別添「日程表」のとおり

# 平成29年度 新規採用職員オリエンテーション日程表

日程：平成29年4月3日（月）、4日（火）、5日（水）  
会場：宝ホール（外来診療棟4階）

4月3日（月）	4月4日（火）	4月5日（水）			
8:30 受付（8:30～8:40 10分間） 辞令交付（病院長）（8:40～9:00 20分間） 9 本院幹部職員の紹介（9:00～9:05 5分間） 病院長訓示（9:05～9:10 5分間） 病院の概要について（9:10～9:25 15分間） オリエンテーション日程説明（9:25～9:30 5分間） 経営戦略について 病院長補佐（経営企画、医療情報担当） 経営管理課長 （9:30～10:00 30分間） 10 個人情報の取り扱いについて 病院情報システムの利用について 経営企画部長 （10:00～10:45 45分間） 休憩（10:45～11:00 15分間） 11 事務手続き等について ・勤務時間関係 ・赴任旅費 ・諸手当等 総務課各担当係 （11:00～12:00 60分間） 12	リスクマネジメントについて 医療安全管理部 GRM(医師) 医療安全管理部 GRM(看護師) 医療安全管理部 GRM(薬剤師) ME機器管理センター 臨床工学技士長 （8:30～10:10 100分間） 休憩（10:10～10:25 15分間） 医療人として必要な基本姿勢・態度 看護部副看護部長, 看護師長 医事課(患者相談担当) （10:25～11:30 65分間） 臨床倫理について 臨床倫理コンサルティングチーム （11:30～12:00 30分間） 12 昼 食（12:00～13:00） 13 情報セキュリティ対策について 本学情報セキュリティ対策部会 （13:00～13:15 15分間） 防火管理について 防火訓練 災害対応 施設説明 総務課総務係長 （13:15～15:00 105分間） ※消火器、消火栓等を使用して屋外で行います。動きやすく、汚れてもよい服装で参加してください。 14	感染対策について ICT(医師) ICT(看護師) ICT(薬剤師) ICT(臨床検査技師) （8:30～10:10 100分間） 休憩（10:10～10:25 15分間） 診療報酬制度について 医事課(診療支援担当) （10:25～11:00 35分間） ハラスメントの防止について 本学ハラスメント相談員 （11:00～12:00 60分間） 12 本学が経理する全ての経費の 適正な執行について 経営管理課長 （13:00～13:40 40分間） 先輩からのメッセージ 「1年間(新人時代)を振り返って」 H28採用職員, 若手職員等 （13:40～14:55 75分間） 14 閉 会（14:55～15:00 5分間） 15			
16 初期臨床研修医 (研修医・専門医総合 教育センターによる研 修) 看護師 (看護部による研修) 17	左記以外の職員 ホスピタル・オリエ ンテーション (所属診療科、部、 課において適宜行 う。)	初期臨床研修医 (研修医・専門医総合 教育センターによる研 修) 看護師 (看護部による研修)	左記以外の職員 職場研修	初期臨床研修医 (研修医・専門医総合 教育センターによる研 修) 看護師 (看護部による研修)	左記以外の職員 BLS研修 病棟2階カンファレンスルーム (15:10～)

院内研修としてオリエンテーション対象者以外の職員も受講可（新規採用医員必須）

院内研修としてオリエンテーション対象者以外の職員も受講可（新規採用医員優先）

職種毎の研修になりますので、所属部署の指示に従ってください。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画    ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 蒲田 敏文
管理担当者氏名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器内科長 金子 周一</li> <li>・リウマチ・膠原病内科長 川野 充弘</li> <li>・循環器内科副科長 川尻 剛照</li> <li>・血液内科長 中尾 眞二</li> <li>・神経内科長 山田 正仁</li> <li>・小児科長 谷内江 昭宏</li> <li>・放射線科長 香田 渉</li> <li>・皮膚科長 竹原 和彦</li> <li>・漢方医学科長 小川 恵子</li> <li>・呼吸器外科長 松本 勲</li> <li>・肝胆膵・移植外科長 太田 哲生</li> <li>・乳腺科長 伏田 幸夫</li> <li>・脊椎・脊髄外科長 村上 英樹</li> <li>・眼科長 杉山 和久</li> <li>・産科婦人科長 藤原 浩</li> <li>・脳神経外科長 中田 光俊</li> <li>・歯科口腔外科長 川尻 秀一</li> <li>・救急科長 後藤 由和</li> <li>・薬剤部長 崔 吉道</li> <li>・経営管理課長 竹中 隆宏</li> <li>・内分泌・代謝内科長 篁 俊成</li> <li>・呼吸器内科長 笠原 寿郎</li> <li>・腎臓内科長 和田 隆志</li> <li>・総合診療科長 野村 英樹</li> <li>・神経科精神科長 三邊 義雄</li> <li>・子どものこころの診療科長 菊知 充</li> <li>・放射線治療科長 熊野 智康</li> <li>・形成外科長 小室 明人</li> <li>・心臓血管外科長 竹村 博文</li> <li>・胃腸外科長 伏田 幸夫</li> <li>・内分泌・総合外科長 森山 秀樹</li> <li>・整形外科長 土屋 弘行</li> <li>・泌尿器科長 溝上 敦</li> <li>・耳鼻咽喉科・頭頸部外科長 吉崎 智一</li> <li>・麻酔科蘇生科長 谷口 巧</li> <li>・核医学診療科長 絹谷 清剛</li> <li>・リハビリテーション科長 八幡 徹太郎</li> <li>・病理診断科長 大井 章史</li> <li>・総務課長 米林 利晃</li> <li>・医事課長 北村 浩一</li> </ul>

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	に掲げる事項 規則第二十二條の三第二項	病院日誌	医事課
		各科診療日誌	医事課
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事課
		看護記録	看護部、医事課
		検査所見記録	医事課
		エックス線写真	医事課
		紹介状	医事課
病院の管理及び運営に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十二條の三第三項に	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	経営管理課、医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課、経営管理課 医薬保健系事務部
		高度の医療の研修の実績	総務課、経営管理課、 医事課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
	第一規則	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課
医療に係る安全管理のための委		医事課	

外来病歴ファイルは、1患者1ファイル、入院病歴ファイルは、1入院期間1ファイル。診療録の院外持ち出しは禁止されている。

		員会の開催状況		
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部、医事課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部、医事課	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 医事課	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課、ME 機器管理センター、放射線部	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課			



		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部、医事課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課、医事課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課、医事課
		職員研修の実施状況	医事課、総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	なし		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 蒲田 敏文	
閲覧担当者氏名	総務課長 米林 利晃	
閲覧の求めに応じる場所	会議室	
閲覧の手続の概要 諸記録の開示（閲覧を含む）を請求する者（以下「開示請求者」）は、国立大学法人金沢大学に対し、法人文書開示請求書を提出する。 国立大学法人金沢大学は、開示請求があった日から特別な場合を除き30日以内に開示決定等を行い、開示請求者に通知する。 開示請求者は、法人文書開示決定通知書を本院へ持参し、閲覧を実施する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 職員ひとりひとりが安全に関する認識を高め、医療事故防止に積極的に取り組むと同時に、病院全体としても組織的に医療に係る安全管理事故防止に取り組み、医療事故等の未然の防止を目指す。</li> <li>(2) 医療安全管理委員会、医療安全管理部、医療安全管理者、リスクマネージャー等による医療安全管理体制を整備し、病院全体として医療事故防止及び医療全体の向上に努める。</li> <li>(3) 医療安全管理のための研修を企画し、病院職員全体が2回以上受講できるようにする。</li> <li>(4) 「医療事故防止マニュアル」の作成、医療事故等の報告事例の検討など、医療安全の確保を目的とした改善方策を実施する。</li> <li>(5) 医療事故が発生した場合にはおいては、「医療安全管理マニュアル」に沿って対応し、医療上の最善の処置を講ずる。また、患者家族に対して事実を速やかにわかりやすく説明する。</li> <li>(6) 患者との信頼関係を築くため、また開かれた医療を推進するため、情報の開示及び提供に積極的に対応していく。</li> <li>(7) 患者相談室を設置し、患者及び家族からの医療安全に関する要望、苦情及び不満を真摯に受け止め、その解決に尽力する。</li> </ol> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（有）</li> <li>・ 開催状況：年13回</li> <li>・ 活動の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療に係る安全管理対策に関すること。</li> <li>(2) 医療事故防止対策に関すること。</li> <li>(3) 発生した医療事故等の原因の調査及び分析に関すること。</li> <li>(4) 分析結果を活用した改善策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。</li> <li>(5) 改善策の実施状況の調査及び当該方策の見直しに関すること。</li> <li>(6) 患者が死亡若しくは死産した場合及び濃厚な処置や治療を要した事象が発生した場合の報告の実施状況の確認に関すること。</li> <li>(7) 安全管理のための教育及び研修に関すること。</li> <li>(8) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること。</li> <li>(9) 改善策の実施状況の調査等の目的のため、定期的に関係部署の巡回を行う。</li> </ol> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年9回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：               <p>【平成29年度】</p> <p>「疼痛管理最前線」4/17</p> <p>「医療機器の安全使用」5/23</p> <p>「意思決定支援の臨床倫理～現状と展望」6/2</p> <p>「インシデントレポート・医療事故調査制度」6/5</p> <p>「困った時にはRRT」6/20</p> <p>「医薬品安全研修（上）」7/18</p> </li> </ul>	

「暴言暴力への安全な対応」 9/22

「特定機能病院に求められる医療安全管理とは？」 12/11

「あなたの” 振る舞い ” が患者を救うーノンテクニカルスキルの重要性ー」  
2/19

【その他】新規採用者研修（随時開催）

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

- 事故報告等の分析結果を現場へフィードバック
- 医療従事者の医療事故防止に関する教育
- 事故防止のための基礎知識の提供
- 事故報告書等から必要なマニュアルを作成
- インシデントサマリに再発防止策を提案
- 事故防止マニュアルの見直し
- GRM等による医療現場のラウンド
- 院内の医療安全ニュースや啓発ポスターの配布
- 院外の事故情報の提供による注意喚起

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>2. 院内感染対策のための委員会に関する基本的事項</li> <li>3. 従事者に対する院内感染対策のための研修に関する基本方針</li> <li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5. 院内感染症発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>7. 抗菌薬の適正使用に関する基本方針</li> <li>8. 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針</li> </ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>以下の事項を審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 院内感染予防の方策及び監視に関すること</li> <li>(2) 院内感染対策のガイドラインの策定及びその実施に関すること</li> <li>(3) 院内感染についての教育活動に関すること</li> <li>(4) 院内感染の調査に関すること</li> <li>(5) 感染制御部の運営に必要な事項に関すること</li> <li>(6) その他院内感染に関して委員会が必要と認める事項</li> </ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年4回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>【平成29年度】</p> <p>「血流感染予防」7/12</p> <p>「空気感染予防」10/31</p> <p>「栄養ゼミナール」9/14</p> <p>「褥瘡対策講演会」2/16</p> <p>【その他】新規採用者研修（随時開催）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 院内感染サーベイランスの実施と分析・評価</li> <li>(2) ICTラウンドによる感染対策実施行動の確認と指導</li> <li>(3) 職業感染防止対策のための計画・実施・改善</li> <li>(4) 感染管理システムを活用した情報共有</li> <li>(5) 感染制御担当者(ICM)による現場における院内感染対策活動の実施及び所属職員への周知徹底</li> </ol>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： 平成29年度実施               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療安全研修（緩和ケアセンター研修：平成29年4月17日開催）                   <ol style="list-style-type: none"> <li>①痛みの評価と目標設定</li> <li>②鎮痛薬の作用・副作用と患者指導</li> <li>③疼痛緩和治療（術後痛・がん疼痛）</li> </ol> </li> <li>2. 医療安全研修（医薬品安全管理・上半期：平成29年7月18日開催）                   <ol style="list-style-type: none"> <li>①医薬品の安全使用について</li> </ol> </li> </ol> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 （有・無）</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医薬品の採用</li> <li>2) 医薬品情報の収集・管理・提供</li> <li>3) 医薬品の購入管理</li> <li>4) 外来および入院患者への医薬品の処方・交付</li> <li>5) 病棟・中央診療施設・外来部門における医薬品の管理</li> <li>6) 外来および入院患者への情報提供および薬学的指導</li> <li>7) 院内製剤の取り扱い</li> <li>8) ハイリスク薬の取り扱い</li> <li>9) 放射性医薬品の安全管理・安全使用</li> </ol> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無）</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 冠攣縮性狭心症に対するエリル注（ファスジル）の適応外使用 患者は胸痛を主訴に緊急入院、種々の治療を施行も無効のため、エリル注による治療が実施された。医学的妥当性・根拠（日本循環器学会「冠攣縮性狭心症の診断と治療に関するガイドライン（2013年改定版）」）、病棟における副作用（頭蓋内出血、低血圧等）のモニタリング体制の状況、患者・家族への説明と同意の取得を確認し、カルテに記載した。</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： 未承認等の医薬品の使用の情報については調剤担当薬剤師や病棟担当薬剤師が処方鑑査で把握する。把握した内容を副薬剤部長が集約し、医薬品安全管理責任者（薬剤部長）に適宜報告するとともに、根拠資料（ガイドライン、文献等）を集積・保管する。 未承認等の医薬品および採用されている医薬品全般の情報については、医薬品情報管理担当薬剤師が添付文書の他、医薬品製造販売業者、行政機関、学術誌等から収集・管理し、必要なものについては当該医薬品を取り扱う医療スタッフに周知する。 医薬品安全管理責任者は、院内各部署に置く医薬品安全管理主任者（リスクマネージャーが兼務）の立ち会いの下に定期的に院内ラウンドを実施し、医薬品安全使用のための業務の実施状況を確認する。改善が必要と認められる事案についてはこれを指示し、結果を医療安全管理委員会に報告する。また未承認等医薬品の情報等をふまえ、必要に応じて診療科等に注意喚起情報を周知する。</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年58回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：           <p style="margin-left: 20px;">有効性、安全性に関する事項、使用方法、保守点検に関する事項、不具合等が発生した場合の対応、使用に関して特に法令上遵守すべき事項</p> </li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 (☑・無)</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：           <p style="margin-left: 20px;">外観チェック、動作チェック、漏れ電流チェック、精度管理、バッテリー性能チェック</p> </li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無)</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：           <p style="margin-left: 20px;">該当なし</p> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：           <p style="margin-left: 20px;">臨床工学技士による病棟等見回りの強化 バッテリー等交換部品の交換基準の見直し</p> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<p>・ 責任者の資格（医師）</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>副病院長（医療安全担当）が医療安全管理責任者として、医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（2名）
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報管理担当者がPMDAメディナビやメーカーからの情報、文献、新聞等から収集、整理し、緊急度や周知すべき対象等に応じて、院内メールや印刷物の配布を行っている。また病棟担当者等による病棟勉強会や、院内の医薬品安全管理研修会での周知も定期的に行っている。</p> <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>病棟担当および調剤担当の薬剤師が処方監査で、また薬剤師が常駐していない診療科等においてはリスクマネジャーが未承認等の医薬品の処方を把握している。対応内容は、担当副薬剤部長に集約し、薬剤部長（医薬品安全管理責任者）に適宜報告するとともに、エクセルファイルと根拠資料（ガイドラインや文献）をファイリングして、事例を集積している。また併用禁忌薬については医薬品情報管理担当者が部門システムを用いて定期的にもリストアップし薬剤部長に報告している。今後は、電子カルテにJAPICデータベースを搭載し、病名からもチェックが可能なシステムを準備中である。</p> <p>・ 担当者の指名の有無（有）</p> <p>・ 担当者の所属・職種：別紙のとおり</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	



④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( 有 )</li> <li>・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：  医療安全管理者等による IC 監査を実施した。(年3回)  主な指導内容：規定に定められた様式の説明文書、同意書を使用すること。  IC を取得した際の説明内容や患者の理解度等の診療録への記載。</li> </ul>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：  各診療科の監査担当医が実施した診療録監査、インフォームドコンセント監査の結果をもとに、診療録等の管理責任者が記載状況及び内容の確認を行った。(年6回)  主な指導内容：インフォームドコンセント実施時、経過記録への説明内容及び患者の理解度等の記載。検査、手術、麻酔に関する要点の経過記録への記載等。</li> </ul>	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員：専従（2）名、専任（2）名、兼任（12）名  うち医師：専従（0）名、専任（2）名、兼任（5）名  うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名  うち看護師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（3）名</li> </ul> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策の企画・立案及び業務改善計画に関すること。</li> <li>(2) 医療安全管理マニュアルの作成等に関すること。</li> <li>(3) 安全管理のための教育及び研修の企画・運営に関すること。</li> <li>(4) インシデント報告及び患者の死亡若しくは死産報告の調査・分析に関すること。</li> <li>(5) リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。</li> <li>(6) 医療事故等に係る診療録及び看護記録等の記載状況の確認・指導に関すること。</li> <li>(7) 患者及び家族等への説明等、医療事故発生時の対応状況の確認・指導に関すること。</li> <li>(8) 医療事故等に係る原因究明の確認及び指導に関すること。</li> <li>(9) 金沢大学附属病院医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成、保存その他当該委員会の事務に関すること。</li> <li>(10) その他医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策に関すること。</li> </ol> </li> </ul> <p>※モニタリングについては、入院患者に対する肺血栓塞栓症リスク評価と予防策の実施率。注射薬投与時のPDA認証の実施率。医療安全研修の受講状況の把握及びアンケートにより理解度の調査。</p>	

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（6件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・ 活動の主な内容：
  - (1) 高難度新規医療技術等の提供の適否決定に関すること
  - (2) 高難度新規医療技術等の提供後の確認に関すること
  - (3) その他高難度新規医療技術等の提供に関すること
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（0件）、及び許可件数（0件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・ 活動の主な内容：
  - (1) 高難度新規医療技術等の提供の適否決定に関すること
  - (2) 高難度新規医療技術等の提供後の確認に関すること
  - (3) その他高難度新規医療技術等の提供に関すること
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 279 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 57 件

<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療に係る安全管理対策に関すること</li> <li>(2) 医療事故防止対策に関すること</li> <li>(3) 発生した医療事故等の原因の調査及び分析に関すること</li> <li>(4) 分析結果を活用した改善策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること</li> <li>(5) 改善策の実施状況の調査及び当該方策の見直しに関すること</li> <li>(6) 患者が死亡若しくは死産した場合及び濃厚な処置や治療を要した事象が発生した場合の報告の実施状況の確認に関すること</li> <li>(7) 安全管理のための教育及び研修に関すること</li> <li>(8) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること</li> <li>(9) 改善策の実施状況の調査等の目的のため、定期的に関係部署の巡回を行う</li> </ul> </li> </ul>
<p>⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：旭川医科大学））</li> <li>・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：秋田大学））</li> <li>・技術的助言の実施状況 <p>高難度新規医療技術等を用いた医療の提供について、診療科から申請された事案の振り分けについて事務部門が行っているが、倫理的検討の要否など判断が困難な場合は検討してはどうかとの助言に対し、厚生労働省の通知に従い、担当部門の長が決定し、管理者に報告を実施していると回答した。</p> </li> </ul>
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体制の確保状況 <p>患者相談室、地域医療連携室、がん相談支援センターにおいてGRM、ソーシャルワーカー、事務職員が相談窓口となり対応している。窓口活動については院内掲示するとともに、インターネット、パンフレットに掲載している。</p> </li> </ul>
<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の実施状況 <p>平成 29 年 6 月 2 日「意思決定支援の臨床倫理</p> <p>平成 29 年 6 月 5 日「インシデント・事故調査制度」</p> <p>平成 29 年 6 月 20 日「RRT」</p> <p>平成 29 年 12 月 11 日「特定機能病院に求められる医療安全管理とは」</p> </li> </ul>
<p>(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）</p>
<p>⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況</p>

・研修の実施状況

公益財団法人日本医療機能評価機構主催の特定機能病院管理者研修に管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全責任者及び医療機器安全管理責任者が参加した。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

## 規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

## ③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況

・担当者の所属・職種

所属	職種	担当	氏名
薬剤部	薬剤師	医薬品情報管理担当者	板井 進悟
薬剤部	薬剤師	調剤担当	原 祐輔
薬剤部	薬剤師	調剤担当	竹田 和喜
薬剤部	薬剤師	調剤担当	谷本 定子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	長田 幸恵
薬剤部	薬剤師	調剤担当	横井 祐子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	山本 奈歩
薬剤部	薬剤師	調剤担当	橋本 さつき
薬剤部	薬剤師	調剤担当	高林 真貴子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	矢口 邦子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	川岸 篤史
薬剤部	薬剤師	調剤担当	川上 貴裕
薬剤部	薬剤師	調剤担当	磯田 和也
薬剤部	薬剤師	調剤担当	辻 千明
薬剤部	薬剤師	調剤担当	磯田 紗弥香
薬剤部	薬剤師	調剤担当	三坂 恒
薬剤部	薬剤師	調剤担当	志村 裕介
薬剤部	薬剤師	調剤担当	山崎 昌子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	金丸 絵莉
薬剤部	薬剤師	調剤担当	樋口 真衣子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	速水 良恵
薬剤部	薬剤師	調剤担当	五十嵐 佑貴
薬剤部	薬剤師	調剤担当	水野 ふみ
薬剤部	薬剤師	調剤担当	堀 祐貴
薬剤部	薬剤師	調剤担当	山崎 京介
薬剤部	薬剤師	調剤担当	山口 奈那子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	寺田 早苗
薬剤部	薬剤師	調剤担当	北間 基子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	小川 由紀
薬剤部	薬剤師	調剤担当	塩本 佑季子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	下川 頌子
薬剤部	薬剤師	病棟担当	坂田 明子
薬剤部	薬剤師	病棟担当	坪内 清貴
薬剤部	薬剤師	病棟担当	浅井 泰詞
薬剤部	薬剤師	病棟担当	中川 祐紀子
薬剤部	薬剤師	病棟担当	吉田 幸司
薬剤部	薬剤師	病棟担当	伊藤 智代
薬剤部	薬剤師	病棟担当	宮崎 あゆみ
薬剤部	薬剤師	病棟担当	加藤 彩香
薬剤部	薬剤師	病棟担当	中川 有衣
薬剤部	薬剤師	病棟担当	高廣 理佳子
薬剤部	薬剤師	病棟担当	毛利 香菜
薬剤部	薬剤師	病棟担当	島田 拓弥
薬剤部	薬剤師	病棟担当	木村 円
薬剤部	薬剤師	病棟担当	森永 光
薬剤部	薬剤師	病棟担当	荒木 美帆
薬剤部	薬剤師	病棟担当	依田 ゆり子
薬剤部	薬剤師	病棟担当	東 昂翔
薬剤部	薬剤師	病棟担当	太田 侑歩
薬剤部	薬剤師	病棟担当	西上 真

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 具体的には医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等</li> <li>(2) 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 具体的には、本院又は本院以外の病院での組織管理経験、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質・能力等</li> </ul> </li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有・<input checked="" type="radio"/> ）</li> <li>・ 公表の方法 平成31年度選考時に金沢大学Webサイトに公表予定</li> </ul>
---

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> ・ 無			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ <input checked="" type="radio"/> ・ 無 ）</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・<input checked="" type="radio"/> ）</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・<input checked="" type="radio"/> ）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
金子 周一	医薬保健研究域医学系		医薬保健研究域長	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
多久和 陽	医薬保健研究域医学系		医薬保健系教育研究会議から選出された者	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
谷内江昭宏	医薬保健研究域医学系	○	病院運営会議から選出された者	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
和田 隆志	医薬保健研究域医学系		病院運営会議から選出された者	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
小藤 幹恵	附属病院		看護部長	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
松浦 幸広	附属病院		医療技術者連絡会議から選出された者	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
谷 順次	病院部		病院部長	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
近藤 邦夫	石川県医師会長		学外有識者・石川県医師会から選出された者	有・ <input checked="" type="radio"/>
山田 哲司	石川県立中央病院長		学外有識者	有・ <input checked="" type="radio"/>

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 中期目標・中期計画及び年度計画に関する事項</p> <p>(2) 規程の制定または改廃に関する事項</p> <p>(3) 予算及び執行並びに決算に関する事項</p> <p>(4) 自ら行う点検及び評価に関する事項</p> <p>(5) その他管理運営に関する事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>病院長が医局長会議（運営会議委員を除く全関係部署の代表者が出席）で、病院運営会議の内容を説明・報告し、各部署で運営会議委員又は医局長会議委員が周知している。</p> <p>また、会議資料は、大学のネットワーク内でPC等で常時閲覧可能としている。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（ (有)・無 ）</p> <p>・公表の方法</p> <p>金沢大学Webサイト・金沢大学規程集に掲載・公表（金沢大学附属病院運営会議規程）</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・(無) ）</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
蒲田 敏文	○	教授・医師	附属病院長、金大病院 CPD センター長
金子 周一		教授・医師	消化器内科長、肝臓センター長、疾病予防センター長
篁 俊成		教授・医師	内分泌・代謝内科長
川野 充弘		講師・医師	リウマチ・膠原病内科長
笠原 寿郎		准教授・医師	呼吸器内科長
和田 隆志		教授・医師	腎臓内科長・検査部長
中尾 眞二		教授・医師	血液内科長、高密度無菌治療部長、造血細胞移植センター長
野村 英樹		特任教授・医師	総合診療科長、総合診療部長
山田 正仁		教授・医師	神経内科長、電子顕微鏡センター長
三邊 義雄		教授・医師	神経科精神科長
谷内江 昭宏		教授・医師	副病院長、小児科長、医療安全管理部長
菊知 充		教授・医師	子どものこころの診療科長
香田 渉		准教授・医師	病院長補佐、放射線科長
熊野 智康		講師・医師	放射線治療科長
竹原 和彦		教授・医師	皮膚科長

小室 明人		講師・医師	形成外科長
小川 恵子		特任准教授・医師	漢方医学科長
竹村 博文		教授・医師	副病院長、心臓血管外科長、ME機器管理センター長
松本 勲		准教授・医師	呼吸器外科長
伏田 幸夫		准教授・医師	胃腸外科長、乳腺科長
太田 哲生		教授・医師	肝胆膵・移植外科長
森山 秀樹		助教・医師	内分泌・総合外科長
土屋 弘行		教授・医師	副病院長、整形外科長
村上 英樹		准教授・医師	脊椎・脊髄外科長、地域医療連携室長
溝上 敦		教授・医師	泌尿器科長
杉山 和久		教授・医師	眼科長、材料部長
吉崎 智一		教授・医師	副病院長、耳鼻咽喉科・頭頸部外科長、研修医・専門医総合教育センター長
藤原 浩		教授・医師	産科婦人科長、周産母子センター長
谷口 巧		教授・医師	麻酔科蘇生科長、手術部長、集中治療部長、麻酔部長
中田 光俊		教授・医師	脳神経外科長
絹谷 清剛		教授・医師	副病院長、核医学診療科長、アイソトープ部長
川尻 秀一		教授・歯科医師	歯科口腔外科長
八幡 徹太郎		講師・医師	リハビリテーション科長、リハビリテーション部長
矢野 聖二		教授・医師	副病院長、がんセンター長
後藤 由和		准教授・医師	救急科長、救急部長
大井 章史		教授・医師	病理診断科長、病理部長
小林 聡		教授・医師	放射線部長
山崎 宏人		准教授・医師	輸血部長
古市 賢吾		准教授・医師	血液浄化療法部長
二宮 致		准教授・医師	光学医療診療部長
和田 泰三		講師・医師	感染制御部長
宮下 知治		助教・医師	栄養管理部長
北村 和哉		助教・医師	炎症性腸疾患センター長
大坪 公士郎		講師・医師	外来化学療法室長
稲葉 英夫		教授・医師	救命センター長
島上 哲朗		特任教授・医師	地域医療教育センター長
村山 敏典		教授・医師	病院長補佐、臨床開発部長、先端医療開発センター長
山田 圭輔		准教授・医師	緩和ケアセンター長
崔 吉道		教授・薬剤師	病院長補佐、薬剤部長
長瀬 啓介		教授・医師	病院長補佐、経営企画部長
渡邊 真紀		看護師	副病院長、看護部長
谷 順次		事務	病院長補佐、病院部長
松浦 幸広		放射線技師	放射線部技師長



規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (  ・ 無 )
- ・ 公表の方法  
金沢大学Webサイト・金沢大学規程集に掲載・公表 (金沢大学附属病院規程)
- ・ 規程の主な内容
  - ・ 病院長は、本院を代表し、本院の経営及び管理運営等の業務を総括するとともに、職員等を指揮監督する。
  - ・ 病院長の任務
    - (1) 本院の運営、管理及び経営に関すること。
    - (2) 診療部門長、診療科長、中央診療施設の長等の任命に関すること。
    - (3) 診療科及び各中央診療施設等への人員配置に関すること。
    - (4) 病院内組織の設置、廃止及び統合に関すること。
    - (5) 病床、診察室等の配分及び利用形態に関すること。
    - (6) 予算の院内配分に関すること。
- ・ 管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割  
副病院長7名 (医療安全、広報・地域医療連携、診療、総務・人事、臨床教育、研究、看護)  
病院長補佐5名 病院長の指示する重要事項 (臨床研究開発、経営企画・医療情報、薬剤、院長業務補佐、事務担当)
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
事務系職員の一部について、大学事務職員とは別に採用試験を行っている。  
また、国立大学附属病院長会議等で開催される国立大学病院事務専門研修、国立大学附属病院経営分析ワークショップ等に参加させ、育成を図っている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					④・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査委員会の開催状況：年2回</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について附属病院長(以下「病院長」という。)等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施すること。</li> <li>(2) 必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</li> <li>(3) 前2号に掲げる業務について、その結果を公表すること。</li> <li>(4) その他医療に係る安全管理の監査に関し必要な事項</li> </ul> </li> <li>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有）</li> <li>・ 委員名簿の公表の有無（有）</li> <li>・ 委員の選定理由の公表の有無（有）</li> <li>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有）</li> <li>・ 公表の方法： <ul style="list-style-type: none"> <li>本院 Web サイトに掲載</li> </ul> </li> </ul>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
秋野 裕信	福井大学医学 部附属病院医 療環境制御セ ンター・医療 安全管理部	○	医療安全管理部 長として医療安 全に関する業務 に従事している ため	無	1
麻生 小夜	金沢あおば法		弁護士として法	無	1

	律事務所		律に関する専門知識に基づき、業務を行っているため		
和田真由美	血液疾患の患者の会「萌の会」		「萌の会」の代表として活動しており、医療を受ける立場から意見を述べることができるため	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容  
金沢大学の業務監査として、監事及び法人監査室が附属病院を含む金沢大学業務全般の監査を行っている。
  
- ・ 専門部署の設置の有無 (  ・ 無 )
  
- ・ 内部規程の整備の有無 (  ・ 無 )
  
- ・ 内部規程の公表の有無 (  ・ 無 )
  
- ・ 公表の方法  
金沢大学Webサイト・金沢大学規程集に掲載・公表 (国立大学法人金沢大学監事監査規程)

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

<p>開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 経営協議会において、附属病院を含む金沢大学の経営に関する重要事項、組織及び運営の状況についての自ら行う点検及び評価に関する事項等を審議している。 なお、病院長は今年度から委員として参画している。</li> <li>・ 会議体の実施状況（ 年6回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/> ・ 無 ）（ 年2回 ）※平成30年度</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> ・ 無 ）</li> <li>・ 公表の方法 金沢大学Webサイト・金沢大学規程集に掲載・公表（金沢大学学則）</li> </ul>
--

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：金沢大学経営協議会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
上村 大輔	神奈川大学特別招聘教授		有・ <input type="radio"/>
川本 八郎	学校法人立命館名誉顧問		有・ <input type="radio"/>
國澤 隆雄	元学校法人大阪医科大学		有・ <input type="radio"/>
鈴木 康夫	株式会社 Bizits パートナーズ代表取締役社長		有・ <input type="radio"/>
中西 吉明	石川県副知事		有・ <input type="radio"/>
中村 健一	中村留精密工業株式会社代表取締役社長		有・ <input type="radio"/>
野路 國夫	コマツ取締役会長		有・ <input type="radio"/>
林 幸秀	公益財団法人ライフサイエンス振興財団理事長		有・ <input type="radio"/>
細田 大蔵	金沢市副市長		有・ <input type="radio"/>
矢部 彰	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術開発機構技術戦略研究センターユニット長		有・ <input type="radio"/>
山崎 光悦	金沢大学長	○	有・ <input type="radio"/>
向 千里	理事		有・ <input type="radio"/>
大竹 茂樹	理事		有・ <input type="radio"/>
氷見谷 直紀	理事		有・ <input type="radio"/>
村井 淳志	人間社会研究域長		有・ <input type="radio"/>
青木 健一	理工研究域長		有・ <input type="radio"/>
中村 裕之	医薬保健研究域長		有・ <input type="radio"/>
蒲田 敏文	附属病院長		<input checked="" type="radio"/> ・ 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有）</li><li>・ 通報件数（年〇件）</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（有）</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有）</li><li>・ 周知の方法 院内メールにて職員に周知</li></ul>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構 時期：平成 27 年 5 月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 本院Webサイトにて情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 糖尿病及び糖尿病性腎症の重症化予防に取り組む糖尿病透析予防チーム、高度な栄養管理をチームとして実施する栄養サポートチーム、悪性腫瘍等の患者のうち、身体的症状又は精神症状を持つ者に対して症状緩和に係る専従のチームとして緩和ケアチーム、褥瘡の予防及び褥瘡発生時における適正な処理を図るため褥瘡対策チームを置いている。平成 30 年度には、これまでの院内感染制御チーム（ICT）に加えて、新たに抗菌薬適正使用支援チーム（AST）を組織し、院内感染に対応する体制をさらに充実させた。そのほか、倫理的な問題を検討する場、解決困難な倫理的問題への医療者の相談対応・解決への支援を行う体制として、臨床倫理コンサルティングチームを設置している。	

(様式第 8)

金大病総第 56 号  
平成30年10月3日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人金沢大学長  
山崎 光悦

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

昨年度に引き続き、公益財団法人日本医療機能評価機構が主催する研修に参加させる予定である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（2）名、専任（2）名、兼任（12）名  
うち医師：専従（ ）名、専任（2）名、兼任（5）名  
うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名  
うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（3）名  
うち放射線技師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名  
うち臨床工学技士：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名  
うち事務職：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

現在、専従薬剤師1名、専従看護師1名、専任医師2名を配置しているが、平成31年4月に専従医師1名を増員予定である。